



2025（令和7）年度



鳴門教育大学

大学院学校教育研究科

学生募集要項

（一般選抜）

選抜試験	出願期間	事前接続テスト	試験日	合格発表
8月日程選抜 (鳴門教育大学)	令和6年 7月8日(月)から 7月17日(水) (必着)		令和6年 8月20日(火)	令和6年 9月9日(月) 午前10時
10月日程選抜 (オンライン)	令和6年 9月30日(月)から 10月4日(金) (必着)	令和6年 10月19日(土)	令和6年 10月26日(土)	令和6年 11月8日(金) 午前10時
12月日程選抜 (鳴門教育大学)	令和6年 11月11日(月)から 11月15日(金) (必着)		令和6年 12月7日(土)	令和6年 12月20日(金) 午前10時
2月日程選抜 (オンライン)	令和7年 1月20日(月)から 1月24日(金) (必着)	令和7年 2月8日(土)	令和7年 2月15日(土)	令和7年 3月6日(木) 午後1時

※各選抜とも、出願状況によっては、上記試験日の翌日にも試験を行う場合があります。

※10月日程選抜試験及び2月日程選抜試験は、インターネット環境を利用したWeb会議システム（Zoom）により行います。

※大学会場実施の選抜とオンライン利用の選抜では、出願要件や試験方法が異なるコース、領域、分野があります。

大学院学校教育研究科アドミッション・ポリシー

修士課程

【求める学生像】

学校教育研究科修士課程においては、多様化する教育課題の解決・改善に関して、広い視野から専門的な知見に基づき支援できる人材及び日本型教育システムを学び開発途上国の教育改善を支援する人材を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、教育課題の解決・改善に向けて、学校・地域（国際社会を含む）・家庭と連携・協働しながら主体的・創造的に取り組んでいこうとする意欲と、高度な専門的知識を探究する高度な研究能力と、その成果を社会に還元するとともに具体的な課題解決に結びつけていこうとする社会的実践力をもった、学校・地域の教育力の向上及び開発途上国の教育改善に積極的に関わる専門家になることを志向する者を基本に選抜します。

【入学者選抜の基本方針】

選抜者の判定は、各コース・分野・領域ごとに、筆記試験又は小論文、及び口述試験の成績の高得点者から行うことを原則とします。特に、志望するコース・分野・領域の専門的知識、研究テーマに関する基礎的知識及び専門職業人としての意欲・適性について審査します。

専門職学位課程

【求める学生像】

学校教育研究科専門職学位課程（教職大学院）においては、高度専門職業人として有すべき資質能力（教育実践力、自己教育力及び教職協働力）を備え、幅広い教育課題に対応したり、新しい教科実践の在り方を創造する教員を養成することを目的としています。

入学者の選抜にあたっては、

1. これまでの教職経験を基盤にして、校内及び県内外の教科指導の中核的な役割を担うことを志向し、高度な実践力を修得しようとする現職教員
(小・中・高等学校の教科指導をリードする教員及び指導主事の養成につながる現職教員)
 2. これまでの教職経験を基盤にして、校内及び県内外において、学校教育を俯瞰的に指導できる中核的な役割を担うことを志向し、高度な実践力を修得しようとする現職教員
(学校園管理職、生徒指導、校内研修等をリードする教員及び指導主事、特別支援教育をリードする教員及び指導主事の養成につながる現職教員)
 3. 学部段階で培われた教科に関する専門性を基盤にして、教科指導における高い指導性を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者
(主として、中・高等学校で活躍する教員の養成につながる者)
 4. 学部段階で培われた資質能力を基盤にして、教職に意欲的に取り組む態度、幅広い実践力を修得し、新しい学校づくりの有力な一員となり得る教員を志向する者
(幼稚園、小学校、特別支援学校等で活躍する教員の養成につながる者)
- を基本に選抜します。

【入学者選抜の基本方針】

選抜者の判定は、各コース・分野ごとに、筆記試験若しくは実技試験、又は小論文、及び口述試験の成績の高得点者から行うことを原則とします。特に志望するコース・分野の専門的知識、スキル、実践研究課題等に関する基礎的知識及び教員としての意欲・適性について審査します。

目 次

1	募集方法	1
2	専攻・コース・分野等別学生募集人員	1
3	標準修業年限	2
4	出願資格	2
5	出願手続	4
6	コース・分野等の志望	7
7	コース・分野等ごとの出願要件等	9
8	受験票等の送付	10
9	選抜試験日，試験時間	10
10	選抜方法	10
11	選抜試験の概要【8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験】	11
12	選抜試験の概要【10月日程選抜試験及び2月日程選抜試験】	16
13	合格者の発表	20
14	入学手続	21
15	長期履修学生制度について	22
16	教職大学院遠隔教育プログラムについて	23
17	専門職学位課程の一種免許状の所有について	24
18	所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者について	24
19	連携協力協定締結大学の推薦を受け出願する者について	26
20	障害等のある入学志願者との事前相談について	26
21	その他の留意事項	26
22	鳴門教育大学の位置図等	27

(出願書類 一式)

2025（令和7）年度鳴門教育大学大学院 学校教育研究科学生募集要項 （一般選抜）

1 募集方法

募集方法については、入学定員を8月日程選抜試験、10月日程選抜試験、12月日程選抜試験及び2月日程選抜試験の4回に分割して募集します。

教職大学院遠隔教育プログラムは、10月日程選抜試験で募集します。ただし、合格者数が募集人員を充足しないコースについては、2月日程選抜試験で募集します。

2 専攻・コース・分野等別学生募集人員

修士課程

課程	専攻／系	コース	分野等	入学定員	募集人員				
					8月日程選抜試験	10月日程選抜試験	12月日程選抜試験	2月日程選抜試験	
修士課程	人間教育専攻	心理臨床コース	臨床心理学領域	60人	30人	若干人	10人	若干人	
			心理・教育科学領域		12人	4人	4人	若干人	
		グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野 国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	60人	46人	7人	7人	若干人	
合計				120人	120人	88人	11人	21人	若干人

専門職学位課程（教職大学院）

課程	専攻／系	コース	入学定員	募集人員						
				8月日程選抜試験	10月日程選抜試験	12月日程選抜試験	2月日程選抜試験			
専門職学位課程（教職大学院）	高度学校教育実践専攻	教科・総合系	国語科教育コース	12人	53人	36人	うち遠隔教育プログラム 1人程度	19人	若干人	
			英語科教育コース	12人					1人程度	若干人
			社会科教育コース	17人					1人程度	若干人
			数学科教育コース	12人					1人程度	若干人
			理科教育コース	12人					1人程度	若干人
			技術・工業・情報科教育コース	12人					1人程度	若干人
			家庭科教育コース	5人					1人程度	若干人
			音楽科教育コース	5人					1人程度	若干人
			美術科教育コース	5人					1人程度	若干人
			保健体育科教育コース	8人					1人程度	若干人
	教育探究総合コース	8人	1人程度	若干人						
	教職系	特別支援教育コース	10人	28人	31人	5人程度	13人	若干人		
		幼児教育コース	10人					5人程度	若干人	
		学校づくりマネジメントコース	14人					5人程度	若干人	
		生徒指導コース	12人					5人程度	若干人	
		学習指導力・ICT教育実践力開発コース	11人					5人程度	若干人	
		教員養成特別コース	15人					5人程度	若干人	
合計		180人	180人					81人	67人	29人程度

※ 8月日程選抜試験、10月日程選抜試験及び12月日程選抜試験において、合格者数が募集人員を充足しない専攻・コース・分野等については、当該欠員数をそれぞれ10月日程選抜試験、12月日程選抜試験及び2月日程選抜試験の募集人員に上乗せして募集します。

3 標準修業年限 2年

(注) 1 修士課程・専門職学位課程で長期履修学生制度を活用した入学者は3年です。

ただし、教職大学院遠隔教育プログラムにおいて、長期履修学生制度を活用した入学者は3～5年を選択可能です。

(注) 2 グローバル教育コースでは、15年以上の教職経験を有する者は1年6か月も可能です。

4 出願資格

日本国籍を有する者の出願資格は、次の(1)から(9)のいずれかに該当する者です。

日本国籍を有しない者の出願資格は、次の(1), (2), (7), (8)のいずれかに該当する者です。

なお、日本国籍を有しない者で(3), (4), (5), (6), (9)のいずれかに該当する者は、私費外国人留学生特別選抜にて、出願してください。

(1) 日本の大学を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和7年3月までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者 ※(注)1

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者 ※(注)2

(9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに22歳に達する者 ※(注)3

(注)1 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程については、文部科学省ホームページを確認してください。

(注)2 文部科学大臣の指定した者に該当する者は、次に掲げるもの等が該当します。

ア 大学を卒業していない者であって、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若し

くは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で、22歳に達したもの及び令和7年3月31日までに22歳に達するもの

イ 旧国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有するもの

ウ 旧国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び3年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの

該当者は、入試課へ連絡してください。

(注)3 個別の入学資格審査の対象となる者は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者です。なお、出願資格(9)で出願しようとする者は、別途「個別の入学資格審査による入学資格の認定手続きについて」を請求し、下記申請期間中に申請してください。

請求先：〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

鳴門教育大学教務部入試課 TEL (088) 687-6131

【個別の入学資格審査 申請期間】

8月日程選抜試験 令和6年6月3日(月)から令和6年6月7日(金) (必着)

10月日程選抜試験 令和6年8月26日(月)から令和6年8月30日(金) (必着)

12月日程選抜試験 令和6年10月15日(火)から令和6年10月18日(金) (必着)

2月日程選抜試験 令和6年12月6日(金)から令和6年12月12日(木) (必着)

なお、この審査は出願期間前に実施するため、各選抜試験の出願期間に合わせて申請期間を設けていますが、例えば、12月日程選抜試験の出願予定者が前もって10月日程選抜の申請期間に申請する場合も受け付けています。

5 出願手続

(1) 出願書類等

書類等の名称		提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	本学所定の用紙を使用してください。
2	受験票, 写真票	全員	ア 本学所定の用紙を使用してください。 イ それぞれに, 所定の事項を記入の上, 裏面に氏名を書いた写真(上半身, 脱帽, 正面向き, 無修整のもので, 出願前6ヶ月以内に撮影した, 縦4cm×横3cmのもの)を貼り付けてください。 ウ 写真票は3枚とも提出してください。
	卒業(見込み)証明書 ※出願時点で発行日が1年以内のものに限る	全員	ア 大学を卒業した者又は卒業見込みの者 出身大学の学長又は学部長が作成した「卒業(見込み)証明書」を提出してください。 イ 上記以外の者 最終学校の卒業証明書又は学位授与証明書等出願資格に関わる証明書を提出してください。
	成績証明書 ※出願時点で発行日が1年以内のものに限る	全員	ア 出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。 イ 編入学により入学し, 大学を卒業(見込み)の者は, 編入前の大学等の成績証明書も併せて提出してください。 ウ 第2志望がある場合は2部必要です。
	教育職員免許状授与証明書	「出願資格の(8)」で出願する者	都道府県教育委員会発行の証明書を提出してください。大学を卒業した者又は卒業見込みの者については, 提出する必要はありません。
3	修士課程研究希望調査書 (第1志望)	第1志望で修士課程の専攻・コース・分野等を志望する者	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕
4	修士課程研究希望調査書 (第2志望)	第2志望で修士課程の専攻・コース・分野等を志望する者	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕
5	専門職学位課程研究希望調査書 (第1志望)	第1志望で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者 (教員養成特別コースを除く。)	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕
6	専門職学位課程研究希望調査書 (第2志望)	第2志望で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者 (教員養成特別コースを除く。)	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕
7	教員養成特別コース志望動機書(専門職学位課程・第1志望)	第1志望で専門職学位課程の教員養成特別コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕
8	教員養成特別コース志望動機書(専門職学位課程・第2志望)	第2志望で専門職学位課程の教員養成特別コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕
9	教育実践の記録	教職経験3年以上の者及び教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者 (心理臨床コース臨床心理学領域は除く。)	本学所定の用紙を使用してください。 ※パソコン入力による作成もできます。〔6ページ(注6)参照〕 なお, 第2志望を有する場合は, 2部提出してください。
10	音楽科教育コース受験調査票	8月日程及び12月日程選抜試験の音楽科教育コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。
11	美術科教育コース受験調査票	8月日程及び12月日程選抜試験の美術科教育コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。
12	保健体育科教育コース競技・競技指導歴調査書	保健体育科教育コース志望者	本学所定の用紙を使用してください。
13	技術・工業・情報科教育コース小論文	8月日程及び12月日程選抜試験の技術・工業・情報科教育コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。

書類等の名称		提出該当者	摘要		
14	家庭科教育コース小論文	8月日程及び12月日程選抜試験の家庭科教育コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。		
	心理学検定及び語学検定の証明書のコピー	10月日程及び2月日程選抜試験の心理臨床コース臨床心理学領域を志望する者	9ページの出願要件にある「心理学」及び「語学」それぞれの検定試験証明書のコピーを、提出してください。		
	実用英語技能検定試験(英検)合格証明書(2級以上)	10月日程及び2月日程選抜試験の英語科教育コースを志望する者	公益財団法人日本英語検定協会発行の合格証明書(2級以上)を提出してください。(コピー可) ※所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者については、不要です。		
15	活動履歴書	グローバル教育コース(分野を問わない)に出願する者で独立行政法人国際協力機構(JICA)のJICA海外協力隊経験を2年間以上有する者	本学所定の用紙を使用してください。		
16	事前課題解答用紙(第1志望)	10月日程及び2月日程選抜試験の該当コースを志望する者	本学所定の用紙を使用してください。 該当コースについては、16ページ12選抜試験の概要を参照してください。		
17	事前課題解答用紙(第2志望)				
18	オンライン入試連絡票	10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者	この提出書類は、必ず、本学ウェブページに掲載している様式をダウンロードし、必要事項をパソコン等で入力、印刷したものを提出してください。		
19	誓約書	10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者	本学所定の用紙を使用してください。		
同意書	現職教員及び教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者		現に学校等に在職している者で、本学大学院に現職のまま入学しようとする者は、本学大学院受験について任命権者等の同意書を本学学長あてに提出してください。(下の表を参照してください。)		
	修学の制度別同意書発行者				
	職種	修学の制度	大学院への派遣研修	休業制度	教職大学院遠隔教育プログラム
		公立幼稚園、公立小学校及び公立中学校教諭		市町村教育委員会	所属長
		都道府県立学校教諭		都道府県教育委員会	所属長
	私立学校教諭		任命権者	所属長	
<p>※「幼児教育コース」に出願する者で、認定こども園(地方裁量型認定こども園を除く。)又は保育所(認可外を除く。)に勤務する者は、所属長の同意書を提出してください。</p> <p>※「学校づくりマネジメントコース」、「生徒指導コース」、「学習指導力・ICT教育実践力開発コース」に出願する者で、幼稚園型認定こども園に勤務する者は、所属長の同意書を提出してください。</p> <p>※受験時に現職教員であり、退職した後本学大学院に入学する者は、同意書提出の必要はありませんが、「20 在職期間証明書」を提出してください。</p>					
20	在職期間証明書	現職教員以外で3年以上の教職経験を有する者及び受験時に現職教員であるが、同意書を提出しない者	本学所定の用紙を使用してください。		
21	連携協力校承諾書	現職教員で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者(教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者を除く。)	本学所定の用紙を使用してください。		
22	連携協力校承諾書(保育士用)	保育所(認可外を除く。)又は保育所型認定こども園に勤務する保育士で、教職大学院遠隔教育プログラムを受講申請する者	本学所定の用紙を使用してください。		
23	長期履修申請書	長期履修学生制度申請者	本学所定の用紙を使用してください。		
24	資格取得プログラム受講申請書	修士課程(心理臨床コース臨床心理学領域を除く。)で資格取得プログラム受講申請者	本学所定の用紙を使用してください。		

書類等の名称		提出該当者	摘要
25	学校教員養成プログラム受講申請書	専門職学位課程で学校教員養成プログラム受講申請者	本学所定の用紙を使用してください。
26	推薦書, 志望理由書	所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者	本学所定の用紙を使用してください。
	派遣証明書 (和文)	グローバル教育コースに出願する者で独立行政法人国際協力機構 (JICA) の JICA 海外協力隊経験を2年間以上有する者	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 発行の証明書を提出してください。
	日本語能力試験 N1 又は 1 級 (旧試験) 認定証明書	日本国籍を有しない者でグローバル教育コース日本語教育・日本文化分野の志望者	公益財団法人日本国際教育支援協会発行の証明書を提出してください。
	旅券 (パスポート) の写し	日本国籍を有しない者で日本国に居住している者	旅券の写し (旅券番号, 写真及び入国査証のページ) を提出してください。
	在留カード (外国人登録証明書) の写し		表裏とも提出してください。
27	郵便振替払込書 (検定料 30,000 円)	全 員	本学所定の用紙 (3 連) に郵便局・ゆうちょ銀行窓口にて検定料振替払込受付証明書に収納印をもらい, 「検定料振替払込受付証明書貼付台紙」 に貼り付けて出願時に提出してください。(ATM (現金自動預払機) は利用しないでください。) 払込手数料は, ご依頼人負担となります。
28	検定料振替払込受付証明書貼付台紙		
29	原符, 領収書	外国に居住する者	本学所定の用紙を使用してください。航空便書状 60g 料金相当の国際返信切手券 (International Reply Coupon) を同封してください。
	検定料 30,000 円	外国に居住する者	日本円で払ってください。
※	受験票等送付用封筒	全 員	本学所定の封筒に, (定形郵便物料金+速達料金) 分の切手を貼り, 住所・氏名を記入してください。
※	あて名シール	全 員	本学所定の用紙を使用してください。

- (注) 1 出願書類のうち, 日本語以外で書かれた証明書等には日本語訳を添付してください。
2 書類等の名称欄の数字は, 出願書類左上の数字を表しています。
3 教職経験を算定する際, 非常勤の職員であっても, 勤務の形態が常勤の職員と同様である場合は, 教職経験とすることができます。また, 特別支援教育コースを志望する者は, 保育所 (認可外を除く。) における保育士の勤務経験を教職経験とすることができます。また, グローバル教育コース (日本語教育・日本文化分野) は, 日本語教師としての勤務経験を教職経験とすることができます。
4 「現職教員」とは, 初等中等教育の諸学校 (教育委員会, 少年自然の家等の教育機関を含む。) に常勤の職員として勤務する者で現職のまま修学可能な者とします。
5 ※の受験票等送付用封筒及びあて名シールはとじこみのものを使用してください。
6 本学ウェブページ (<https://www.naruto-u.ac.jp/>) からフォーマットをダウンロードし, 作成することができます。その際は, 必ず両面印刷したものを提出してください。

(2) 個人情報保護法に基づく個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載された個人情報 (氏名, 生年月日, 性別その他の個人情報等) は, 入学者選抜及び合格通知並びに入学手続きを行うために利用します。また同個人情報は, 合格者の入学後の教務関係 (学籍, 修学指導等), 学生支援関係 (健康管理, 奨学金申請等), 授業料等に関する業務及び調査・研究 (入試の改善や志願動向の調査・分析等) を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

(3) 出願方法

出願書類等は一括し, 本学所定の出願用封筒を用いて, 出願期間中に提出してください。

① 出願期間

【8月日程選抜試験】: 令和6年7月8日(月)~令和6年7月17日(水) (必着)

【10月日程選抜試験】: 令和6年9月30日(月)~令和6年10月4日(金) (必着)

【12月日程選抜試験】: 令和6年11月11日(月)~令和6年11月15日(金) (必着)

【2月日程選抜試験】: 令和7年1月20日(月)~令和7年1月24日(金) (必着)

② 出願書類等の提出先

〒 772 - 8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地 鳴門教育大学教務部入試課

③ 出願方法

ア 郵便による場合は、必ず募集要項挟み込みの封筒を使用し、「書留速達」としてください。

イ 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び祝日には、受付を行いません。

6 コース・分野等の志望

(1) コース・分野等のうち、一つのコース・分野等を選んで「第1志望」とし、それを記入してください。

(2) 第1志望以外のコース・分野等のうち、一つを選んで「第2志望」とすることができます。ただし、第2志望として修士課程の心理臨床コース臨床心理学領域は選べません。

(3) 専門職学位課程の学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コースを第1志望とする者は、第2志望として専門職学位課程の教員養成特別コースは選べません。また、反対に専門職学位課程の教員養成特別コースを第1志望とする者は、第2志望として専門職学位課程の学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コースを選ぶことはできません。

(4) 専門職学位課程の教職大学院遠隔教育プログラムによる入学希望者は、第1志望のみ出願できます。ただし、第1志望として、学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コースに出願する者は、第2志望として学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コースに出願できます。

(5) 出願書類提出後におけるコース・分野等の変更は認めません。

(6) 専門職学位課程の各コースの入学希望者のうち、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める一種免許状の所要資格（免許の取得に必要な学位と単位）を有しない入学希望者については、修了するためには、鳴門教育大学学校教育学部において開設される授業科目を履修し、一種免許状の所要資格を得るための単位を修得する必要があります。

上記に該当する者（一種免許状の所要資格を有しない者）は、「15 長期履修学生制度について」（22ページ）を参照願います。

ただし、幼児教育コースの入学希望者のうち、幼稚園、認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）又は保育所（認可外を除く。）に現に勤務し、かつ幼稚園教諭二種免許状を有する者においては、この限りではありません。

7 コース・分野等ごとの出願要件等

(1) 以下のコース・分野については、出願に特別な要件が必要となります。

コース・分野等	出願要件
① 「心理臨床コース」 臨床心理学領域 10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者	以下の心理学及び語学の両方の条件を満たす者を対象とします。 [心理学] 以下に該当すること ・心理学検定1級以上合格 (3年以上の教職経験を有する者を除く) [語学] 以下のいずれかに該当すること ・実用英語技能検定試験 2級以上合格 ・TOEIC L&R 合計550点以上 ・TOEFL iBT 42点以上 ・GTEC 1,000点以上 ※ただし母国語として英語を使用している者は、日本語能力試験N2以上に認定されていること。 (3年以上の教職経験を有する者及び連携協力協定締結大学から推薦のあった者を除く)
② 「グローバル教育コース」 日本語教育・日本文化分野	日本国籍を有していない者が出願する場合、日本語能力試験N1又は1級(旧試験)に合格している者を対象としています。
③ 「英語科教育コース」 10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者	実用英語技能検定試験2級以上に合格している者を対象とします。 ただし、所属する大学等の学長または学部長等の推薦を受け出願する者については、この要件をすでに満たしているものとみなします。
④ 「学校づくりマネジメントコース」, 「生徒指導コース」, 「学習指導力・ICT教育実践力開発コース」	現職教員であり、次のいずれかの初等中等教育の諸学校(教育委員会、少年自然の家等の教育機関を含む。)に勤務し、かつ3年以上の教職経験を有する者を対象としています。 ①幼稚園、②小学校、③中学校、④高等学校、⑤中等教育学校、⑥義務教育学校、⑦特別支援学校、⑧幼稚園型認定こども園 なお、保育士としての勤務経験は教職経験に該当しません。 ※教職大学院遠隔教育プログラムの出願を希望する現職教員のうち、「在外教育施設への教員派遣制度」により、海外の日本人学校等、在外教育施設で勤務している方については、出願期間開始前までに教務課(TEL(088)687-6692)へご相談ください。
⑤ 「教員養成特別コース」	現職教員ではない者(入学時に現職教員ではない者も含む。)で、かつ次のいずれかの要件が必要となります。 ①小学校教諭一種免許状を有する者(取得見込みの者を含む。)* ②小学校教諭一種免許状を有しない者で、学校教員養成プログラムのうち小学校教員養成プログラムを申請する者 *小学校教諭一種免許状を有する者(取得見込みの者を含む。)は、学校教員養成プログラムの幼稚園教員養成プログラムあるいは中学校教員養成プログラムを申請することが可能です。

(2) 「幼児教育コース」の入学希望者のうち、現職教員として出願できる者は、以下のとおりです。

「幼児教育コース」	次のいずれかの初等中等教育の諸学校(教育委員会、少年自然の家等の教育機関を含む。)に勤務し、かつ3年以上の教職経験を有する者を対象としています。 ①幼稚園、②小学校、③中学校、④高等学校、⑤中等教育学校、⑥義務教育学校、⑦特別支援学校、⑧幼稚園型認定こども園、⑨幼保連携型認定こども園 なお、保育士としての勤務経験は教職経験に該当しません。
-----------	--

8 受験票等の送付

出願書類を受理後、受験票、受験上の注意及びその他受験に必要な書類を、8月日程選抜試験は令和6年8月上旬、10月日程選抜試験は令和6年10月中旬、12月日程選抜試験は令和6年11月下旬、2月日程選抜試験は令和7年2月上旬に発送する予定です。

9 選抜試験日、試験時間

(1) 鳴門教育大学会場（8月日程選抜試験，12月日程選抜試験）

【8月日程選抜試験】令和6年8月20日(火)

【12月日程選抜試験】令和6年12月7日(土)

専攻・コース・分野等	試験時間		
	9：00～10：30	10：50～12：20	13：30～17：30 (予定)
技術・工業・情報科教育コース及び家庭科教育コースを除く全コース又は分野又は領域	筆記試験又は実技試験		口述試験
	第1志望	第2志望	
技術・工業・情報科教育コース及び家庭科教育コース			実技試験
			口述試験

- (注) 1 「第2志望」まで出願した者は、「第1志望」に係る筆記試験又は実技試験及び口述試験のほか、第2志望に係る筆記試験又は実技試験及び口述試験を併せて受験してください。
- 2 筆記試験又は実技試験の受験を辞退した者は、口述試験を受験できません。
- 3 出願状況によっては、上記試験日の翌日にも試験を行う場合があります。また、出願状況により、口述試験開始時刻を繰り上げることがあります。詳細な日程等は、受験票送付の際にお知らせします。

【試験場】

鳴門教育大学 所在地：徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL (088) 687 - 6131

(2) オンライン入学試験（10月日程選抜試験，2月日程選抜試験）

【10月日程選抜試験】令和6年10月26日(土)

(事前接続テスト 令和6年10月19日(土))

【2月日程選抜試験】令和7年2月15日(土)

(事前接続テスト 令和7年2月8日(土))

9：00～17：00 (予定)
口 述 試 験

- (注) 口述試験はWeb会議室システム (Zoom) を使用して実施します。口述試験及び事前接続テストの詳細な日程等は、受験票送付の際にお知らせします。出願状況及び通信環境によっては、上記試験日の翌日にも試験を行う場合があります。また、出願状況により、口述試験開始時刻を変更することがあります。

10 選抜方法

入学者の選抜は、選抜試験の成績及び提出書類等の評価を総合して行います。

なお、教職経験者等は、試験の一部が免除されることがあります。

教職経験者等とは、以下のア)～オ)に該当する者とします。

ア) 初等中等教育における3年以上（令和7年4月1日現在）の教職経験を有する者
非常勤の職員であっても、勤務の形態が常勤の職員と同様である者を含みます。

また、特別支援教育コースを志望する者は、保育所（認可外を除く。）における保育士の勤務経験を含むことができます。

なお、グローバル教育コース（日本語教育・日本文化分野）は日本語教師としての勤務経験を教職経験とすることができます。

イ) 連携協力協定締結大学から推薦のあった者

ウ) 所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者

エ) 本学出身者で本学から推薦のあった者

オ) グローバル教育コース（分野を問わない）に出願する者で、独立行政法人国際協力機構（JICA）のJICA海外協力隊経験を2年間以上有する者

11 選抜試験の概要【8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験】

10月日程選抜試験及び2月日程選抜試験の選抜試験の概要については、16ページをご覧ください。

(1) 筆記試験又は実技試験

心理臨床コース臨床心理学領域を志望する者のうち、初等中等教育における3年以上（令和7年4月1日現在）の教職経験を有する者（非常勤の職員であっても、勤務の形態が常勤の職員と同様である者を含みます。）と、それ以外の者との試験問題は異なります。

(2) 筆記試験又は実技試験の免除

①教職経験者等は、筆記試験（実技試験）を行いません。（ただし、心理臨床コース臨床心理学領域は除く。）

※教職経験者等に該当する者については、「10 選抜方法」で確認してください。

②心理臨床コース臨床心理学領域では、教職経験者等であっても、筆記試験を行います。

ただし、心理臨床コース臨床心理学領域に出願し、連携協力協定締結大学から推薦のあった者は筆記試験を行いません。

(3) 口述試験

出願状況により、口述試験開始時刻を繰り上げることがあります。

また、選抜試験実施日の翌日にも口述試験を行う場合があります。

口述試験時間は、原則として修士課程においては教職経験者等は20分程度、その他の受験者については10分程度、専門職学位課程では、教職経験者等は20分程度、その他の受験者については15分程度を予定しています。コース・分野等により口述試験時間は異なりますので、詳細は14ページの「留意事項」欄で確認してください。

【8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験】

各専攻・コース・分野等別の筆記試験又は実技試験の内容等は次のとおりです。

専攻 課程	コース	分 野 等	内 容 等	留 意 事 項	
人間教育専攻 修士課程	心理臨床コース	臨床心理学領域	3年以上の教職経験を有する者	臨床心理学を中心とした心理学の基礎的知識ならびに心理職としての職能・責務に関する内容について出題します。	専門知識に関する設問及び小論文です。
			3年以上の教職経験を有しない者		専門知識に関する設問及び英語の問題です。英和辞典1冊の持ち込みを認めます。(ただし、電子辞書は認めません。)
		心理・教育科学領域	心理学の基礎的知識や心の教育に関する内容について出題します。	—	
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野	日本語教育学に関する題材を通して、基本的な知識、思考力、分析力をみます。	日本語で試験を行います。	
国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野		国際的な教育活動（国際協力、理数科教育、英語コミュニケーション・異文化理解）に関する内容、研究テーマについて問います。	英語での解答を求める出題を含むため、和英辞典1冊の持ち込みを認めます。(電子辞書は不可)		
専攻 課程 高度学位課程(教職大学院)	国語科教育コース	—	国語科教育についての題材を通して、基本的な思考力、判断力、表現力をみます。	—	
	英語科教育コース	—	英語科教育に関する問題を出題します。(英語の基本的読解力及び作文力を見る問題を含みます。)	—	
	社会科教育コース	—	社会科教育に関する諸学問領域について出題します。	社会科教育・歴史・地理・公民の四つの問題群から一つを選択して解答してください。	
	数学科教育コース	—	別表1参照	—	
	理科教育コース	—	理科教育、理科の専門について出題します。	理科教育、理科の専門から複数の問題を出題します。これらの中から2問題を選択し、解答してください。	
	技術・工業・情報科教育コース	—	別表2参照	—	
	家庭科教育コース	—	別表2参照	—	
	音楽科教育コース	—	別表3参照	—	
	美術科教育コース	—	別表4参照	—	
	保健体育科教育コース	—	保健体育科教育に関連した筆記試験を行います。	—	
	教育探究総合コース	—	教科・領域等の枠にとらわれることなく、教育について総合的な視点から、基本的な思考力、判断力、表現力を問う問題を出題します。	—	
	特別支援教育コース	—	特別支援教育に関する実践的な諸課題について出題します。	—	
	教職系	幼児教育コース	—	保育・教育に関する教育学、心理学、福祉学の内容	—
学校づくりマネジメントコース		—	実施しません。	—	
生徒指導コース		—			
学習指導力・ICT教育実践力開発コース		—			
教員養成特別コース		—	教職に関する一般的な内容を出題します。	教職に関する設問及び小論文です。	

【8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験】

別表1 数学科教育コース（教職経験者等を除く）

内 容 等	留 意 事 項
算数・数学の指導に関する実技試験	<p>実技試験は、1人15分で実施します。</p> <p>①出願後に、小学校と中学校の題材を送付します。試験当日にこれらの題材から一つを選択し、児童または生徒を対象とした説明を行ってください。利用できるものは黒板とチョークのみです。資料等の持ち込みは出来ません。</p> <p>説明時間は10分です。</p> <p>②説明に関する口述試問を行います。</p>

別表2 技術・工業・情報科教育コース及び家庭科教育コース（教職経験者等を除く）

コ ー ス	試 験 内 容 及 び 留 意 事 項
技術・工業・情報科教育コース	<p>実技試験は、1人20分で実施します。</p> <p>①出願時に提出した小論文の内容に関する口頭発表 口頭発表の際、実物投影機能付きプロジェクタ（A4版までの普通紙のみに対応）を利用できますので、説明に利用する場合は、事前に資料や制作物等を作成し持参してください。また、黒板も利用できます。</p> <p>※パソコン等は利用できません。</p> <p>口頭発表時間：7分間</p> <p>②口頭発表に関する口述試問</p>
家庭科教育コース	

（注） この実技試験の終了後、引き続き口述試問（15分程度）を行います。

別表3 音楽科教育コース（教職経験者等を除く）

内 容 等	留 意 事 項
小 論 文	音楽科教育に関する小論文を課します。
演 奏 実 技	<p>声楽、器楽などにより、任意の曲を演奏してください。</p> <p>（ピアノ以外の楽器は持参の事。器楽の場合、反復は省略）</p>

（注） 出願時に自身の希望する内容等の二つのうちから一つを選択し、別紙「音楽科教育コース受験調査票」に記入してください。

なお、伴奏が必要な場合は、伴奏者の同伴も可能です。

別表4 美術科教育コース（教職経験者等を除く）

内 容 等	留 意 事 項
小 論 文	美術教育に関わる小論文を課します。
実 技（素 描）	<p>鉛筆デッサン 2H～4Bまでの鉛筆と消しゴム及び練り消しゴムを各自持参してください。</p>

（注） 出願時に自身の希望する内容等の二つのうちから一つを選択し、別紙「美術科教育コース受験調査票」に記入してください。

【8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験】

各専攻・コース・分野等別の口述試験の内容等は次のとおりです。

専攻 課程	コース	分野等	内容等	留意事項	
専攻 課程 人間教育専攻	心理臨床コース	臨床心理学領域	3年以上の教職経験を有する者及び3年以上の教職経験を有しない者(志望動機、専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。)	10分程度を予定しています。	
			連携協力協定締結大学から推薦のあった者(心理学の基礎知識、志望動機、専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。)	20分程度を予定しています。	
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野 国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	日本語教育学の専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	日本語で質疑を行います。その他、教職経験者等は20分程度、その他の受験者については10分程度を予定しています。	
			国際的な教育活動(国際協力、理数科教育、英語コミュニケーション、異文化理解)に関する内容、研究テーマについて問います。	日本語での質疑を基本としつつ、英語での質疑をすることもあります。	
専攻 課程 高度学校教育実践専攻 教職大学院	国語科教育コース	—	国語科教育実践等に関する内容及び専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度を予定しています。	
	英語科教育コース	—	英語科教育実践等に関する内容及び専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の実践研究課題とその内容について試問します。	英語による簡単な問答を含みます。	
	社会科教育コース	—	社会科教育実践等に関する内容及び専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度を予定しています。	
	数学科教育コース	—	数学及び算数・数学教育に関する内容、入学後の実践研究の課題について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度を予定しています。	
	理科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究の課題について試問します。	—	
	技術・工業・情報科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究課題に関する問題意識及び研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者に対しては15分程度を予定しています。	
	家庭科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究課題に関する問題意識及び研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者に対しては15分程度を予定しています。	
	音楽科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究課題に関する問題意識及び研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者に対しては15分程度を予定しています。	
	美術科教育コース	—	専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	美術科教育コースを受験する者は、自分が制作した作品写真や児童生徒の指導事例等の写真など、自己の能力をアピールするための資料集・ポートフォリオを持参してもよいです。教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者に対しては15分程度を予定しています。	
	保健体育科教育コース	—	専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者に対しては15分程度を予定しています。	
	教育探究総合コース	—	研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問するため、試験時間は20分程度を予定しています。	
	教職 課程	特別支援教育コース	—	教育実践等に関する問題意識、志望動機、専門に関する内容、志望動機及び入学後の実践研究課題と研究内容等について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他にスクールリーダー等としての役割や抱負、実践研究課題に関するこれまでの教育実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者については15分程度を予定しています。
		幼児教育コース	—	教育実践等に関する問題意識、志望動機、専門に関する内容、志望動機及び入学後の実践研究課題と研究内容等について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他にスクールリーダー等としての役割や抱負、実践研究課題に関するこれまでの教育実践等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者については15分程度を予定しています。
		学校づくりマネジメントコース	—	①主として勤務校における教育実践等に関する問題意識について試問します。	面接時間は20分程度を予定しています。
生徒指導コース		—	②これまでの教育実践等の内容について試問します。		
学習指導力・ICT教育実践力開発コース		—	③教職のキャリアビジョンや抱負について試問します。		
教員養成特別コース		—	志望動機書の内容等について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に学校教育に関する問題意識や教員としての今後の抱負等について試問するため、試験時間は20分程度、その他の受験者については15分程度を予定しています。	

【8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験】

(4) 試験の配点

専攻/系	コース	分野等	区分	筆記試験又は実技試験	口述試験	合計				
人間教育専攻	心理臨床コース	臨床心理学領域	3年以上の教職経験を有する者及び3年以上の教職経験を有しない者	200点	100点	300点				
			連携協力協定締結大学から推薦のあった者	—	300点	300点				
		心理・教育科学領域	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野 国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	教職経験者等	—	300点	300点				
上記以外			150点	150点	300点					
高度学校教育実践専攻	国語科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	英語科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	200点	100点	300点				
	社会科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	200点	100点	300点				
	数学科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	理科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	技術・工業・情報科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	200点	100点	300点				
	家庭科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	200点	100点	300点				
	音楽科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	美術科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	保健体育科教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	教育探究総合コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	150点	150点	300点				
	特別支援教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点				
			上記以外	200点	100点	300点				
幼児教育コース	—	教職経験者等	—	300点	300点					
		上記以外	200点	100点	300点					
教職系	学校づくりマネジメントコース	—	—	—	300点	300点				
	生徒指導コース	—								
	学習指導力・ICT教育実践力開発コース	—								
	教員養成特別コース	—					教職経験者等	—	300点	300点
		—					上記以外	150点	150点	300点

12 選抜試験の概要【10月日程選抜試験及び2月日程選抜試験】

8月日程選抜試験及び12月日程選抜試験の選抜試験の概要については、11ページをご覧ください。

(1) 事前課題

心理臨床コース臨床心理学領域、グローバル教育コース（日本語教育・日本文化分野）、社会科教育コース、音楽科教育コース、教育探究総合コース、特別支援教育コース、幼児教育コースでは、事前課題を実施します。事前課題内容について、留意事項等に注意の上、事前課題解答用紙を作成し、提出してください。

事前課題解答用紙は横書きとし、日本語 1,000 字程度で記載してください。

（音楽科教育コースで演奏動画を提出する者を除く。）※留意事項参照のこと

なお、事前課題の評価は口述試験の成績評価に含めて行います。

各専攻・コース・分野等別の事前課題の内容等は次のとおりです。

課程 専攻系	コース	分野等	事前課題内容	留意事項
修士課程 人間教育専攻	心理臨床コース	臨床心理学領域	3年以上の教職経験を有する者は、あなたのこれまでの教育相談・生徒指導の経験を踏まえ、今後の教育実践においてどのようなことに取り組むため、臨床心理学を学ぶのかについて述べよ。 3年以上の教職経験を有しない者は、あなたがこれまで臨床心理学を学んだ経験を踏まえ、どのような心理援助者を目指しているのかについて述べよ。	事前課題は、口述試験での資料とします。
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野	修士課程研究希望調書の「入学後に希望する研究テーマ」に関する先行研究を二つ取り上げ、それらの研究成果と残された課題及び自身の研究内容との関係について述べよ。	取り上げた文献については、必ず文末にリストとしてまとめること。（著者、出版年、タイトル、出版社（論文の場合は雑誌名、巻号、ページ数）） なお、これは字数に含めない。
高度学校教育実践専攻 専攻・総合系 専門職学位課程	社会科教育コース	—	専門職学位課程研究希望調書における「入学後に希望する実践研究課題」について、関連する文献を数件読みまとめた上で、自身の研究課題の意義について述べよ。	読んだ文献については、必ず文末にリストとしてまとめること。（著者、出版年、タイトル、出版社（論文の場合は雑誌）、巻号、ページ数）
	音楽科教育コース	—	以下の(1)(2)のうちいずれかを選択せよ。 (1) 自己の能力をアピールするための演奏動画(1曲,2分～7分程度)の提出。 ・カメラの角度が固定されていて未編集のものとする。 ・座奏の場合は、顔と手が映っているもの、立奏の場合は腰から上が映っているものとする。 ・演奏前に正面を向き、氏名を言ってから続けて演奏すること。 ・データ提出方法は YouTube へのアップロード（限定公開）とする。 (2) これからの音楽教育に求められることについて、あなたの考えを述べよ。	(1)を選択した場合は、事前課題解答用紙に以下の項目を必ず記載すること。 ・楽器名もしくは声種 ・曲名、作曲者名 ・YouTube の URL（間違いのないよう正確に記入すること）
	教育探究総合コース	—	「教育探究総合コースコンセプト」(19ページ参照)に示した語彙群からテーマを一つ選び、あなたの問題意識を述べよ。	事前課題は、口述試験(プレゼンテーション)での資料とします。 関心のあるテーマと専門職学位課程研究希望調書の内容は同一である必要はありませんが、関連性を説明できるようにしておいてください。
	特別支援教育コース	—	今後の特別支援教育の発展に関して期待することを述べよ。	—
教職系	幼児教育コース	—	これからの幼児教育に求められることについて、あなたの考えを述べよ。	—

(2) 事前課題の免除

- ① 教職経験者等は、事前課題を行いません。(ただし、心理臨床コース臨床心理学領域は除く。)

※ 教職経験者等に該当する者については、「10 選抜方法」で確認してください。

- ② 心理臨床コース臨床心理学領域では、教職経験者等であっても、事前課題を行います。ただし、心理臨床コース臨床心理学領域に出願し、連携協力協定締結大学から推薦のあった者は事前課題を行いません。

(3) 口述試験

自宅等から受験できるオンライン入試で、口述試験を実施します。

口述試験は、受験者のインターネット環境（パソコン・スマートフォン等）を利用した遠隔での Web 会議室システム（Zoom）によるオンライン入試とします。

出願状況により、口述試験開始時刻を変更することがあります。

口述試験時間は、原則として20分程度を予定しています。コース・分野等により口述試験時間は異なりますので、詳細は次ページの「留意事項」欄で確認してください。

【10月日程選抜試験及び2月日程選抜試験】

各専攻・コース・分野等別の口述試験の内容等は次のとおりです。

専攻 課程	コース	分野等	内容等	留意事項	
専攻 課程 人間教育専攻 修士課程	心理臨床コース	臨床心理学領域	志望動機、専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	試験時間は、20分程度です。	
		心理・教育科学領域	専門（心理学ならびに心の教育）に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究内容について試問します。	試験時間は30分程度です。なお、教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの教育経験等について試問し、試験時間は20分程度です。	
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野	日本語教育学の専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	日本語で質疑を行います。試験時間は30分程度です。	
		国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	国際的な教育活動（国際協力、理数科教育、英語コミュニケーション・異文化理解）に関する内容、研究テーマについて問います。	日本語での質疑を基本としつつ、英語での質疑をすることもあります。	
専攻 課程 教科・総合系 高度学校教育実践専攻 専門職学位課程（教職大学院）	国語科教育コース	—	国語科教育実践等に関する内容及び専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。	
	英語科教育コース	—	英語科教育実践等に関する内容及び専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の実践研究課題とその内容について試問します。	英語による簡単な問答を含みます。	
	社会科教育コース	—	社会科教育実践等に関する内容及び専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。	
	数学科教育コース	—	数学及び算数・数学教育に関する内容、入学後の実践研究の課題について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問し、試験時間は20分程度を予定しています。 その他の受験者は、左記の内容の他に別表1に関わる試問をし、試験時間は30分程度を予定しています。（別表1：数学科教育コース（教職経験者等を除く）参照）	
	理科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究の課題について試問します。	—	
	技術・工業・情報科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究課題に関する問題意識及び研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。	
	家庭科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究課題に関する問題意識及び研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。	
	音楽科教育コース	—	専門に関する内容、入学後の実践研究課題に関する問題意識及び研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。	
	美術科教育コース	—	専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	美術科教育コースを受験する者は、自分が制作した作品や児童生徒の指導事例など、自己の能力をアピールするための写真を3枚程度、必ず持参してください。画面内に提示して解説してください。試験時間は20分程度です。	
	保健体育科教育コース	—	専門に関する内容、研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。	
	教育探究総合コース	—	研究テーマに関する問題意識及び入学後の研究課題と研究内容について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に研究テーマに関わるこれまでの研究実践等について試問します。 その他の受験者は、左記の内容の他に別表2に関わる試問をします。（別表2：教育探究総合コース（教職経験者等を除く）参照）	
	特別支援教育コース	—	教育実践等に関する問題意識、志望コースに関する内容、志望動機及び入学後の実践研究課題と研究内容等について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他にスクールリーダー等としての役割や抱負、実践研究課題に関わるこれまでの教育実践等について試問します。	
	教職系	幼児教育コース	—	教育実践等に関する問題意識、志望コースに関する内容、志望動機及び入学後の実践研究課題と研究内容等について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他にスクールリーダー等としての役割や抱負、実践研究課題に関わるこれまでの教育実践等について試問します。
		学校づくりマネジメントコース	—	①主として勤務校における教育実践等に関する問題意識について試問します。	面接時間は20分程度を予定しています。
生徒指導コース		—	②これまでの教育実践等の内容について試問します。		
学習指導力・ICT教育実践力開発コース		—	③教職のキャリアビジョンや抱負について試問します。		
教員養成特別コース	—	志望動機書の内容等について試問します。	教職経験者等に対しては、左記の内容の他に学校教育に関する問題意識や教員としての今後の抱負等について試問します。		

※教職経験者等に該当する者については、「10 選抜方法」で確認してください。

別表1 数学科教育コース（教職経験者等を除く）

内 容 等	留 意 事 項
算数・数学の指導に関する口述試験	<p>① 出願後に、小学校と中学校の題材を送付します。これらの題材から一つ選択し、試験当日までに授業1時間分を想定した板書計画を、パワーポイントや写真（画用紙・スケッチブック・模造紙・黒板等を撮影したもの）等のデジタルファイルで作成してください。</p> <p>② 試験当日は、作成した板書計画のデジタルファイルを画面共有して口述試験担当者に見せ、10分で説明してください。その後、説明に関する口述試問を行います。</p>

別表2 教育探究総合コース（教職経験者等を除く）

内 容 等	留 意 事 項
「教育探究総合コースコンセプト」についての問題意識に関する口述試験	<p>口述試験中に5分程度のプレゼンテーションを課します。</p> <p>プレゼンテーションでは、「教育探究総合コースコンセプト」の語彙群（下記参照）から関心のあるテーマ（防災、国際理解、持続可能性、など）一つについて、あなたの問題意識を述べてください。</p> <p>プレゼンテーションに際しては、パワーポイント等（画面共有）、もしくはフリップ（画用紙やスケッチブック等）・ポスター等で可視化したものを一つ準備してください。</p> <p>プレゼンテーションに際しては、パワーポイント等を画面共有するか、フリップ、ポスター等をカメラで映して、内容を提示できるように準備してください。</p> <p>また、事前課題として、プレゼンテーションの内容を1,000字程度にまとめて、提出してください。</p> <p>なお、プレゼンテーションのテーマと研究希望調書の内容は同一である必要はありませんが、関連性を説明できるようにしておいてください。</p> <p style="text-align: center;">※ 教育探究総合コースコンセプト</p> <p>< 語彙群 > 哲学対話、実践哲学、道徳、人権、学校、国際理解、グローバル、シティズンシップ、STEAM、持続可能性、責任ある消費と生産、エネルギー、気候変動、環境保全、生物多様性、防災、減災</p>

(4) 試験の配点

専攻/系	コース	分野等	区分	口述試験	合計	
人間教育専攻	心理臨床コース	臨床心理学領域	教職経験者等 上記以外	300点	300点	
		心理・教育科学領域	教職経験者等 上記以外			
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野 国際教育協力分野	教職経験者等			
		英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	上記以外			
高度学校教育実践専攻	教科・総合系	国語科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		英語科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		社会科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		数学科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		理科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		技術・工業・情報科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		家庭科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		音楽科教育コース	—			教職経験者等 上記以外
		美術科教育コース	—	教職経験者等 上記以外		
		保健体育科教育コース	—	教職経験者等 上記以外		
		教育探究総合コース	—	教職経験者等 上記以外		
		特別支援教育コース	—	教職経験者等 上記以外		
		教職系	幼児教育コース	—	教職経験者等 上記以外	
			学校づくりマネジメントコース	—	—	
			生徒指導コース	—		
			学習指導力・ICT教育実践力開発コース	—		
教員養成特別コース	—		教職経験者等 上記以外			

※ 事前課題の評価は、口述試験の成績評価に含めて行います。

13 合格者の発表

【8月日程選抜試験】

令和6年9月9日(月) 午前10時

【10月日程選抜試験】

令和6年11月8日(金) 午前10時

【12月日程選抜試験】

令和6年12月20日(金) 午前10時

【2月日程選抜試験】

令和7年3月6日(木) 午後1時

(注) 本学入学試験用掲示板に、合格者の受験番号を掲示して発表するとともに、受験者に対し合否結果の通知書を送付します。

また、ウェブページに合格者の受験番号を掲載します。これは、情報提供サービスの一環として行うものであり、データの改ざんや通信上のトラブル等が発生する場合がありますので、必ず入学試験用掲示板又は合否結果の通知書で確認してください。(掲載までに時間を要することや障害等が発生し、閲覧できなくなることも予想されますので、ご留意願います。) (<https://www.naruto-u.ac.jp/>)

なお、合否の問い合わせには、電話、郵便の別を問わず応じません。

14 入学手続

(1) 入学手続期間

- ① 8月日程選抜試験の合格者
令和6年10月15日(火)から令和6年10月21日(月)
- ② 10月日程選抜試験の合格者
令和6年12月9日(月)から令和6年12月13日(金)
- ③ 12月日程選抜試験の合格者
令和7年1月7日(火)から令和7年1月10日(金)
- ④ 2月日程選抜試験の合格者
令和7年3月13日(木)から令和7年3月14日(金)

※合格者には、入学に際し必要な書類を合格通知書と併せて発送します。

(2) 入学手続方法

郵送(書留速達)又は大学の窓口へ持参(平日に限る。)してください。

※入学手続書類を郵送する場合は、締切日必着

○ 経 費

入学料	282,000円	} 令和6年度実績です。
授業料(前期分)	267,900円	
授業料(後期分)	267,900円	

(注) ア 入学料は、入学手続時に納付してください。(入学料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。)

イ 前期分の授業料については、令和7年4月1日(火)から令和7年4月30日(木)までに納付してください。

ウ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

エ 既納の入学料は、返還しません。

(3) 入学手続に関する問い合わせ先

鳴門教育大学 教務部 教務課 TEL (088) 687 - 6692

15 長期履修学生制度について

(1) 長期履修学生制度

① 2年間で大学院を修了することが困難な者

長期履修学生制度とは、次のアからウのいずれかに該当する者が、標準修業年限2年を超えて、3年間（教職大学院遠隔教育プログラム受講生は3年間～5年間）で計画的に教育課程を履修することができる制度です。授業料は、2年分の授業料を3年間（教職大学院遠隔教育プログラム受講生はその修業年限）で分割納入することになります。

本制度を希望する場合は、出願の際に申請していただき、入学者選抜試験に合格した者の中から審査の上、これを許可します。

ア 職業を有し、就業している者（自営業及び臨時雇用（単発的なものを除く。）を含む。）

イ 家事、育児、長期介護等の事情を有する者

ウ その他やむを得ない事情を有すると学長が認めた者

長期履修学生制度を希望する者は、様式23「長期履修申請書」を提出してください。

ただし、教職大学院遠隔教育プログラムによる専門職学位課程高度学校教育実践専攻への入学希望者の内、長期履修学生制度を希望する者は、入学願書裏面の「長期履修申請書」へ記入願います。（「16 教職大学院遠隔教育プログラムについて」（23ページ）を参照）

② 大学院において、教育職員免許状授与資格等を取得しようとする者

大学院において、下記に示す「資格取得プログラム」、「学校教員養成プログラム」の受講を申請し許可された者に長期履修学生制度を適用します。

(2) 修士課程における【資格取得プログラム】（心理臨床コース臨床心理学領域を除く。）

修士課程では、長期履修学生制度を活用した、「資格取得プログラム」を導入しています。

本プログラムは、幼稚園、小学校及び中学校のいずれかの教育職員免許状の授与資格及びその他の資格を取得させることを目的としています。なお、その他の資格とは、本学学校教育学部

の授業科目を履修することによって取得できる資格のことです。

資格取得プログラムの受講を希望する者は、様式24「資格取得プログラム受講申請書」を提出してください。

なお、本プログラムに申請された方は、口述試験と併せて面接を行い、受講の適否を判定します。

(3) 専門職学位課程における【学校教員養成プログラム】

専門職学位課程では、大学院において新たに教育職員免許状を取得できる「学校教員養成プログラム」を導入しています。

本プログラムは、幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校のいずれかの教育職員免許状の授与資格を取得させることを目的としています。（「17 専門職学位課程の一種免許状の所有について」（24ページ）を参照）

学校教員養成プログラムには、次のプログラムがあります。

① 幼稚園教員養成プログラム

② 小学校教員養成プログラム

③ 中学校教員養成プログラム

④ 特別支援学校教員養成プログラム

ただし、特別支援学校教員養成プログラムの受講を申請することができる者は、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校のいずれかの教育職員免許状の授与資格を取得又は取得見込みの者としてします。

学校教員養成プログラムの受講を希望する者は、様式 25「学校教員養成プログラム受講申請書」を提出してください。

- (4) 長期履修学生制度に関する問い合わせ先

鳴門教育大学 教務部 教務課 TEL (088) 687 - 6692

16 教職大学院遠隔教育プログラムについて

教育委員会からの長期派遣による現職教員の派遣制度の他に、教職大学院遠隔教育プログラムを開設しています。

- (1) 対象者

幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭のうち、いずれかの一種免許状を有する**現職教員**で、所属長の同意を得て、在職のまま入学しようとする者としてします。

なお、幼児教育コースにおける教職大学院遠隔教育プログラムでは、幼稚園、認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）に現に勤務する幼稚園教諭二種免許状のみ取得の現職教員及び保育所（認可外を除く。）に現に勤務する幼稚園教諭二種免許状のみ取得の保育士も受講対象者としてします。

また、教職大学院遠隔教育プログラムで出願を希望する現職教員のうち、「在外教育施設への教員派遣制度」により、海外の日本人学校等、在外教育施設で勤務している方は、出願期間開始前までに教務課（TEL (088) 687 - 6692）へご相談ください。

- (2) 募集人員

1 ページ参照

- (3) 修業年限

2 年

ただし、教職大学院遠隔教育プログラムによる入学希望者は、長期履修学生制度を活用し 3～5 年間での履修も可能です。教職大学院遠隔教育プログラムによる入学希望者の内、長期履修学生制度を希望する者は、入学願書裏面の「長期履修申請書」に記入願います。（※「15 長期履修学生制度について」（22 ページ）を参照願います。）

なお、3～5 年の長期履修学生制度を活用した場合でも、修了までの授業料は 2 年分となります。（留年の場合を除く。）1 年分の授業料は、2 年分の授業料を修業年限（3 年～5 年）で割った額となります。

- (4) 授業形態

教職大学院遠隔教育プログラムでは、インターネットを用いた遠隔教育システムによる授業と長期休業期間等を利用したスクーリング（対面型集中講義）による授業を実施します。

なお、教職大学院遠隔教育プログラムには、実習科目の履修を免除する制度があります。

- (5) 受講申請要件

① 所属長の入学に関する「同意書」を提出することが要件となります。

※所属が変更になった場合には、新しい所属長による「同意書」を再度提出してください。

② 履修へ向けた推奨環境

リアルタイム授業では教員や学生間でディスカッションを行いますので、事前にマイクやカメラをご用意いただくとスムーズな参加が可能です。

また、通信環境として光ファイバー網等の有線 LAN 環境もご用意いただくと通信の混線や電波の干渉による遅延を回避できる可能性があります。

(6) 選抜方法等

教職大学院遠隔教育プログラムによる入学希望者の試験問題は、志望するコースと同じ問題です。

受験を希望する者は、入学願書裏面の「教職大学院遠隔教育プログラム」欄の『希望する』を○で囲んでください。

17 専門職学位課程の一種免許状の所有について

専門職学位課程の入学希望者のうち、教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める一種免許状の所要資格（免許の取得に必要な学位と単位）を有しない入学希望者については、修了するためには、鳴門教育大学学校教育学部において開設される授業科目を履修し、一種免許状の所要資格を得るための単位を修得する必要があります。

上記に該当する者（一種免許状の所要資格を有しない者）は、「15 長期履修学生制度について」（22 ページ）を参照願います。

ただし、幼児教育コースの入学希望者のうち、幼稚園、認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）又は保育所（認可外を除く。）に現に勤務し、かつ幼稚園教諭二種免許状を有する者においては、この限りではありません。

18 所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者について

鳴門教育大学大学院修士課程又は専門職学位課程進学への強い熱意を有し、かつ、学業成績及び人物ともに優れていることを所属する学長又は学部長等が認めて推薦する受験生に対し、大学院入試における筆記試験、実技試験及び事前課題を免除する制度を設けました。

(1) 推薦要件（以下の事項の全てに該当すること）

① 鳴門教育大学大学院修士課程又は専門職学位課程進学への強い熱意を有し、かつ学業成績及び人物ともに優れている者

② 募集要項に定める出願資格に該当する大学等を年度中に卒業見込み又は修了見込みの者

③ 入学を志望する専攻・コース・分野等における専門分野に関する優れた成績又は実績を有し、さらに人物についても優れ、出願するコース・分野等における特記事項に基づき、学長又は学部長等が責任を持って推薦できる者で、合格した場合には必ず入学できる者（※）

※ 本学大学院修士課程の出願の際に資格取得プログラムの受講を申請した者で、同プログラム受講適否の面接の結果、受講を許可されなかった者については、入学を辞退することもできます。

(2) 出願にあたっての留意事項

① この制度により出願を行う場合は、第 2 志望を志望することはできません。

② 出願にあたっては、学長又は学部長等による、厳封した「推薦書」及び志願者本人が作成した「志望理由書」を提出してください。当該書類に不備がある場合は、原則として筆記試験、実技試験及び事前課題の免除は認めません。

(3) 出願できるコース・分野等

この制度により出願できるコース・分野等は次のとおりとします。

課程	専攻系	コース	分野等	特記事項
修士課程	人間教育専攻	心理臨床コース	心理・教育科学領域	心理学をベースとした科学的な研究姿勢を持ち、科学的に根拠をもった研究成果を出すことに意欲的であり、かつ以下に該当する人物であること ①統計的な分析を学び、使用することに抵抗がない者 ②文献を読みこなし、研究目的と方法を構築することができる者 ③研究成果を、学校や臨床場面で利用できることを目指す者
		グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野 国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	日本語教育・日本文化分野に関する基礎的な知識をもつだけでなく、同分野への高い関心・理解力をもち、将来その分野に関する仕事に従事する強い意志をもつ者 国際的な教育活動(国際協力、理数科教育、英語コミュニケーション・異文化理解)に関する基礎的な知識をもつだけでなく、同活動への高い関心・理解力をもち、将来その分野に関する仕事に従事する強い意志をもつ者
専門職学位課程(教職大学院)	高度学校教育実践専攻	国語科教育コース	—	国語と教育に関する基礎的知識・理解力を有し、実践力をもった初等中等教育教員になることを志す者
		英語科教育コース	—	TOEFL iBT80 以上, TOEIC730 以上, 英検準1級以上のいずれかの成績を有する者 ※証明書を添付のこと (TOEFL iBT は, Test Taker Score Report, TOEICは公式認定証, 英検は合格証明書。(コピー可))
		社会科教育コース	—	推薦できる人数は各学部につき1名までとし、次の①～②すべてに該当する者 ①小学校教諭一種免許状, 中学校教諭一種免許状(社会), 高等学校教諭一種免許状(公民), 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)のいずれかを有する者(取得見込みの者も含む。) ②既単位取得科目の成績について、「A」もしくは「優」以上の科目が70%以上, 又は GPA3.0 以上であること
		数学科教育コース	—	数学と教育に関する基礎的知識・理解力を有し、実践力をもった初等中等教育教員になることを志す者
		理科教育コース	—	小学校教諭一種免許状, 中学校教諭一種免許状(理科), 高等学校教諭一種免許状(理科)のいずれかを有する者(取得見込みの者を含む。)
		技術・工業・情報科教育コース	—	技術, 工業, 情報のいずれかに関する基礎的知識・理解力を有し、教職に対する強い意欲・情熱をもち初等中等教育教員を志望する者
		家庭科教育コース	—	家政学及び家庭科教育に関して高い関心を有し、初等中等教育教員になることを強く志向する者
		音楽科教育コース	—	演奏表現と音楽教育に関して高い関心を有し、初等中等教員となることを強く志向する者
		美術科教育コース	—	造形表現と美術教育に関して高い関心を有し、初等中等教育教員になることを強く志向する者
		保健体育科教育コース	—	既単位取得科目の成績について、「B」もしくは「良」以上の科目数が80%以上であること
教職系	—	教育探究総合コース	—	既単位取得科目の成績について「A」もしくは「優」以上の科目が70%以上, 又は GPA が 3.0 以上であること
		特別支援教育コース	—	次の①～②すべてに該当する者 ①特別支援教育に高い関心をもち、高度な教育実践力と実践的研究能力をもつ指導者を強く志向する者 ②既単位取得科目の成績について、「A」もしくは「優」以上の科目数が70%以上であること
		幼児教育コース	—	次の①～②すべてに該当する者 ①乳幼児期から青年期までの子どもの保育・教育に高い関心をもち、高度な教育実践力と実践的研究能力をもつ指導者を強く志向する者 ②既単位取得科目の成績について、「A」もしくは「優」以上の科目数が70%以上であること
教職系	—	教員養成特別コース	—	次の①～③すべてに該当する者 ①学部段階で教員としての資質能力を身につけ、教職に対する強い意欲・情熱をもち小学校教員を志向する者 ②公立小学校教員採用試験に出願した者 ③小学校教諭一種免許状を有する者(取得見込みの者を含む。)

19 連携協力協定締結大学の推薦を受け出願する者について

鳴門教育大学の連携協力協定締結大学が推薦する受験生に対し、大学院入試における筆記試験、実技試験及び事前課題を免除する制度を設けました。詳細については、鳴門教育大学教務部入試課までお問い合わせください。

20 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学に出願しようとする障害等のある者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

(1) 相談の申し出期限

8月日程選抜……………令和6年6月7日(金)まで

10月日程選抜……………令和6年8月30日(金)まで

12月日程選抜……………令和6年10月18日(金)まで

2月日程選抜……………令和6年12月20日(金)まで

(2) 相談の方法

事前相談申出書を提出することとし、必要な場合は本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

(3) 連絡先

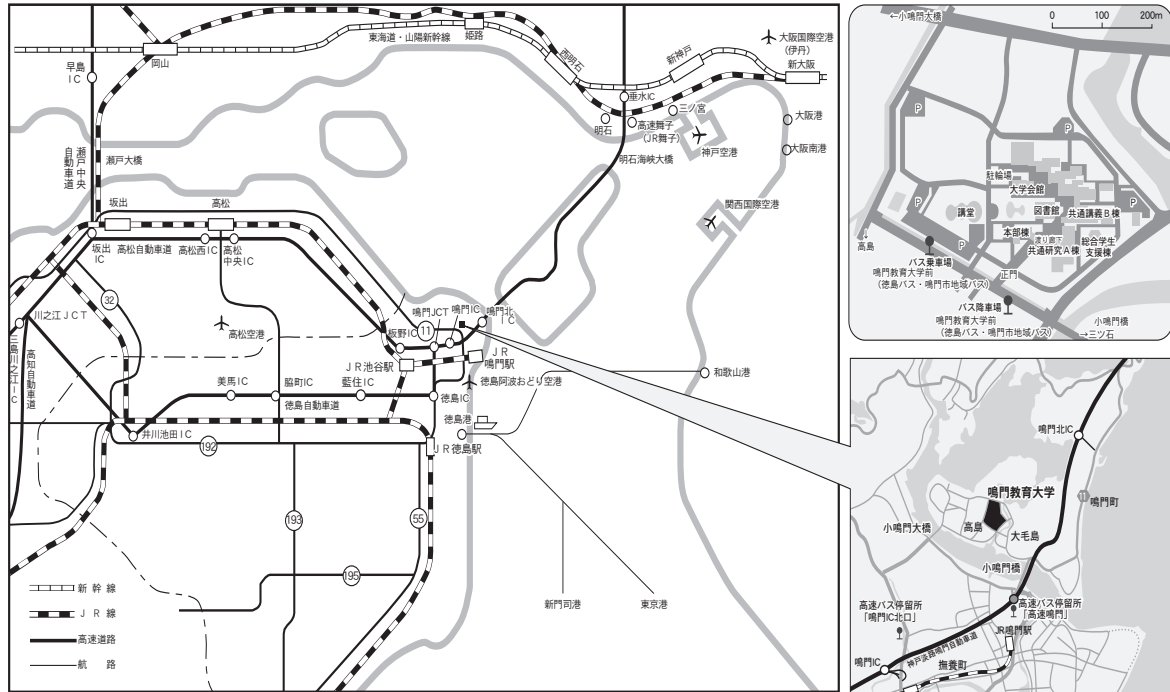
〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

鳴門教育大学教務部入試課 TEL (088) 687 - 6131

21 その他の留意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- (2) 受理した出願書類及び検定料は返還しません。
- (3) 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (4) 受験のための宿泊施設のあっせんは行いません。
- (5) この募集要項に記載されていることについて一部変更が生じたときは、必要に応じて通知等を行うことがありますので、留意してください。
- (6) 入学試験における個人成績を本人に限り開示します。詳しくは、本学のウェブページ(<https://www.naruto-u.ac.jp/>)の「受験生応援サイト／大学院入試情報／入試情報の開示（大学院）」をご覧ください。

22 鳴門教育大学の位置図等



▶ アクセスガイド



出 願 書 類

- 1 入学願書
- 2 受験票, 写真票
- 3 修士課程研究希望調書 (第1志望)
※第1志望で修士課程の専攻・コース・分野等を志望する者
- 4 修士課程研究希望調書 (第2志望)
※第2志望で修士課程の専攻・コース・分野等を志望する者
- 5 専門職学位課程研究希望調書 (第1志望)
※第1志望で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者 (教員養成特別コースを除く。)
- 6 専門職学位課程研究希望調書 (第2志望)
※第2志望で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者 (教員養成特別コースを除く。)
- 7 教員養成特別コース 志望動機書 (専門職学位課程・第1志望)
※第1志望で教員養成特別コースを志望する者
- 8 教員養成特別コース 志望動機書 (専門職学位課程・第2志望)
※第2志望で教員養成特別コースを志望する者
- 9 教育実践の記録 (教職経験3年以上の者及び教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者 (心理臨床コース臨床心理学領域は除く。))
- 10 音楽科教育コース受験調査票 (8月日程及び12月日程選抜試験に出願する者)
- 11 美術科教育コース受験調査票 (8月日程及び12月日程選抜試験に出願する者)
- 12 保健体育科教育コース競技・競技指導歴調書
- 13 技術・工業・情報科教育コース小論文
(8月日程及び12月日程選抜試験に出願する者)
- 14 家庭科教育コース小論文 (8月日程及び12月日程選抜試験に出願する者)
- 15 活動履歴書 (グローバル教育コース (分野を問わない) に出願する者で独立行政法人国際協力機構 (JICA) の JICA 海外協力隊経験を2年間以上有する者)
- 16 事前課題解答用紙 (第1志望) (10月日程及び2月日程選抜試験の該当コースを志望する者)
- 17 事前課題解答用紙 (第2志望) (10月日程及び2月日程選抜試験の該当コースを志望する者)
- 18 オンライン入試連絡票 (10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者)
- 19 誓約書 (10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者)
- 20 在職期間証明書 (現職教員以外で3年以上の教職経験を有する者)
- 21 連携協力校承諾書 (現職教員で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者 (教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者を除く。))
- 22 連携協力校承諾書 (保育士用)
- 23 長期履修申請書 (長期履修学生制度申請者)
- 24 資格取得プログラム受講申請書 (修士課程 (心理臨床コース臨床心理学領域を除く。) で資格取得プログラム受講申請者)
- 25 学校教員養成プログラム受講申請書 (専門職学位課程で学校教員養成プログラム受講申請者)
- 26 推薦書, 志望理由書 (所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者)
- 27 郵便振替払込書
- 28 検定料振替払込受付証明書貼付台紙
- 29 検定料原符, 領収書 (外国に住居する者)
あて名シール

入学願書記入上の注意

- 1 () 内は、該当するものを○で囲んでください。
- 2 「志望専攻・コース・分野等」欄は、「志望専攻・コース・分野等の略称一覧表」から選択し、記入してください。
- 3 「その他の資格」欄は、募集要項（2ページ）に記載してある出願資格の(1)以外に該当する場合に記入してください。
- 4 「取得教員免許状の種類」
一種免許状を取得していない者（取得見込は除きます。）で、専門職学位課程の専攻・コースを志望する者は、「17 専門職学位課程の一種免許状の所有について」（24ページ）を参照願います。
- 5 「現職等」欄は、[] 内の該当するものを○で囲み、勤務先・大学等名（現職者は勤務地、学生は大学所在地、無職者は居住地）を記入してください。また、勤務先・大学等は具体的に記入してください。（例 ○○県立○○特別支援学校教諭、○○大学学生等）
- 6 「教職経験年数」欄は、次のとおりとします。
 - (1) 初等中等教育教員として勤務した期間（非常勤の教職経験年数数の算定は、勤務の形態が常勤の職員と同様である場合に限ります。）を記入してください。ただし、育児休業、国際派遣等による休職期間は、算入しないでください。
また、特別支援教育コースを志望する者は、保育所（認可外を除く。）の保育士として勤務した期間を含めて記入してください。また、グローバル教育コース（日本語教育・日本文化分野）は、日本語教師としての勤務経験を教職経験とすることができます。
なお、教職年数数の算定は、令和7年3月31日までの在職年数で算出し、令和7年4月1日以前に退職する予定がある場合は、退職予定日までの計算としてください。
 - (2) 1か月未満の教職経験月数は、1か月に切り上げてください。
 - (3) 教職経験年数数は、修士課程・専門職学位課程研究希望調書の初等中等教育教員として勤務した在職年数と一致させてください。
- 7 「同意書」欄は、現職教員が、本学大学院に現職のまま入学しようとする者（大学院修学休業制度を利用する者を含む。）で、本学大学院受験について、任命権者等の同意書の有無を○で囲んでください。（5ページ）
- 8 「選択する志望分野」欄は、次のとおりとします。
8月日程及び12月日程選抜試験の高度学校教育実践専攻 教科・総合系 音楽科教育コース 美術科教育コースを志望する者は、それぞれ小論文・演奏実技もしくは小論文・実技（素描）の□に✓点を入れてください。
- 9 長期履修学生制度を申請する者は、『希望する』を○で囲んで、【23 長期履修申請書】を出願時に同封してください。ただし、資格取得プログラム受講申請者、学校教員養成プログラム受講申請者、並びに教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者で長期履修学生制度を希望する者は、【23 長期履修申請書】を提出するのではなく、資格取得プログラム受講申請者は、【24 資格取得プログラム受講申請書】の「長期履修申請書」欄に必要事項を記載、学校教員養成プログラム受講申請者は【25 学校教員養成プログラム受講申請書】の「長期履修申請書」欄に必要事項を記載、教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者で長期履修学生制度を希望する者は、【1 入学願書】裏面にある「長期履修申請書」欄に必要事項を記載の上提出してください。
- 10 修士課程（心理臨床コース臨床心理学領域を除く。）における資格取得プログラム受講申請者は『希望する』を○で囲んで、【24 資格取得プログラム受講申請書】を出願時に同封してください。
- 11 専門職学位課程における学校教員養成プログラム受講申請者は『希望する』を○で囲んで、【25 学校教員養成プログラム受講申請書】を出願時に同封してください。
- 12 教職大学院遠隔教育プログラムによる入学希望者は、『希望する』を○で囲んでください。また、長期履修学生制度を希望する者は、【1 入学願書】裏面にある「長期履修申請書」欄にも記入してください。
- 13 電話番号は、携帯電話等、照会時や緊急時に連絡のとれる番号を記入してください。

志望専攻・コース・分野等の略称一覧表

修士課程

専攻	コース	分野等	略称
人間教育専攻	心理臨床コース	臨床心理学領域	臨床
		心理・教育科学領域	心理・教育
	グローバル教育コース	日本語教育・日本文化分野	日本語教育
		国際教育協力分野 英語コミュニケーション・異文化理解分野 国際理数科教育分野	グローバル

専門職学位課程（教職大学院）

専攻/系	コース	略称	
高度学校教育実践専攻	教科・総合系	国語科教育コース	国語
		英語科教育コース	英語
		社会科教育コース	社会
		数学科教育コース	数学
		理科教育コース	理科
		技術・工業・情報科教育コース	技術・工業・情報
		家庭科教育コース	家庭
		音楽科教育コース	音楽
		美術科教育コース	美術
		保健体育科教育コース	保健体育
	教育探究総合コース	総合	
	教職系	特別支援教育コース	特別支援
		幼児教育コース	幼児
学校づくりマネジメントコース		学校づくり	
生徒指導コース		生徒指導	
学習指導力・ICT教育実践力開発コース		学習指導	
教員養成特別コース		教員養成	

入 学 願 書

令和7年度 鳴門教育大学大学院学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）

ふりがな				※			
氏 名	旧姓（ ）		受験番号	日程区分 (8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)			
			男・女				
生年月日	昭和 平成	年 月 日生					
志望専攻 ・コース ・分野等	第1志望	専攻	コース	分野・領域 (略称)			
	第2志望	専攻	コース	分野・領域 (略称)			
出 願 資 格	大学卒業 (卒業見込)		(国立・公立・私立) 大学				
			学部 学科・課程				
	昭和 平成 令和		年 月	(卒業・卒業見込)			
	その他の資格 (上記の資格を有しない場合)						
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。) ※取得済の場合は取得済、取得見込の場 合は取得見込を○で囲んでください。		(取得済・取得見込)					
現 職 等	職 種 等		<table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">(国立 公立 私立)</td> <td style="padding: 2px;">教員</td> <td style="padding: 2px;">(小学校, 中学校, 高等学校, 幼稚園 特別支援学校, その他())</td> </tr> </table>	(国立 公立 私立)	教員	(小学校, 中学校, 高等学校, 幼稚園 特別支援学校, その他())	学生 その他()
	(国立 公立 私立)	教員	(小学校, 中学校, 高等学校, 幼稚園 特別支援学校, その他())				
	勤 務 先 ・ 大 学 等	名 称					
住 所 等		〒 都道府県 TEL () —					
教 職 経 験 年 月 数 (令和7年3月31日現在)		年 月	同 意 書	(有 ・ 無)			
連 絡 先	現 住 所		〒 自宅TEL () — /携帯 () — Eメールアドレス等				
	帰 省 先 等 住 所		〒 TEL () —				
	そ の 他 緊 急 連 絡 先		氏名 (あなたとの続柄) TEL () —				

裏面も記入願います。

選択する志望分野（該当コース志望者は全員□内に✓点を記入してください。）（8月日程・12月日程）					
課程	専攻／系	コース	内容等	備考	
専門職学位課程 （教職大学院）	高度学校教育実践専攻	教科・総合系	音楽科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 演奏実技	
			美術科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 実技（素描）	

長期履修学生制度 （希望する者は、○で囲んでください。）	希望する	※様式23（長期履修申請書）も記入すること。
修士課程 資格取得プログラム （希望する者は、○で囲んでください。）	希望する	※様式24（資格取得プログラム受講申請書）も記入すること。
専門職学位課程 学校教員養成プログラム （希望する者は、○で囲んでください。）	希望する	※様式25（学校教員養成プログラム受講申請書）も記入すること。
教職大学院遠隔教育プログラム （希望する者は、○で囲んでください。）	希望する	

- （注） 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 「入学願書記入上の注意」に留意してください。

「教職大学院遠隔教育プログラム」入学希望者で、長期履修学生制度を希望する者は、以下の申請書も記入願います。

長期履修申請書		
		年 月 日
鳴門教育大学長 殿		
		氏 名
教職大学院遠隔教育プログラムを受講したいので、長期履修学生制度（修業年限 3年・4年・5年）を申請します。		
		※希望する年限に○印を付すこと。

2 受 験 票 (8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)

令和7年度 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 (修士課程・専門職学位課程)

氏 名	男・女	受験番号	※
志望専攻 ・コース ・分野等	第1志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)
	第2志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)

写真貼付欄
写真(上半身, 脱帽, 正面向き, 無修整, 6ヶ月以内に撮影した, 縦4cm×横3cm)の裏に, 氏名を記入し, 貼り付けてください。

裏面も記入願います。

【試験会場：鳴門教育大学】

切り離さないでください

写 真 票 (8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)

令和7年度 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 (修士課程・専門職学位課程)

氏 名	男・女	受験番号	※
志望専攻 ・コース ・分野等	第1志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)
	第2志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)

写真貼付欄
写真(上半身, 脱帽, 正面向き, 無修整, 6ヶ月以内に撮影した, 縦4cm×横3cm)の裏に, 氏名を記入し, 貼り付けてください。

裏面も記入願います。

切り離さないでください

写 真 票 (8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)

令和7年度 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 (修士課程・専門職学位課程)

氏 名	男・女	受験番号	※
志望専攻 ・コース ・分野等	第1志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)
	第2志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)

写真貼付欄
写真(上半身, 脱帽, 正面向き, 無修整, 6ヶ月以内に撮影した, 縦4cm×横3cm)の裏に, 氏名を記入し, 貼り付けてください。

裏面も記入願います。

切り離さないでください

写 真 票 (8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)

令和7年度 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 (修士課程・専門職学位課程)

氏 名	男・女	受験番号	※
志望専攻 ・コース ・分野等	第1志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)
	第2志望 専攻 コース 分野・領域		(略称)

写真貼付欄
写真(上半身, 脱帽, 正面向き, 無修整, 6ヶ月以内に撮影した, 縦4cm×横3cm)の裏に, 氏名を記入し, 貼り付けてください。

裏面も記入願います。

選択する志望分野（該当コース志望者は全員□内に✓点を記入してください。）（8月日程・12月日程）

課程	専攻／系	コース	内 容 等	備 考	
専門職学位課程 （教職大学院）	高度学校教育実践専攻	教科・総合系	音楽科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 演奏実技	
			美術科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 実技（素描）	

選択する志望分野（該当コース志望者は全員□内に✓点を記入してください。）（8月日程・12月日程）

課程	専攻／系	コース	内 容 等	備 考	
専門職学位課程 （教職大学院）	高度学校教育実践専攻	教科・総合系	音楽科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 演奏実技	
			美術科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 実技（素描）	

選択する志望分野（該当コース志望者は全員□内に✓点を記入してください。）（8月日程・12月日程）

課程	専攻／系	コース	内 容 等	備 考	
専門職学位課程 （教職大学院）	高度学校教育実践専攻	教科・総合系	音楽科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 演奏実技	
			美術科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 実技（素描）	

選択する志望分野（該当コース志望者は全員□内に✓点を記入してください。）（8月日程・12月日程）

課程	専攻／系	コース	内 容 等	備 考	
専門職学位課程 （教職大学院）	高度学校教育実践専攻	教科・総合系	音楽科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 演奏実技	
			美術科教育コース	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 実技（素描）	

修士課程研究希望調書記入上の注意

1 入学後に希望する研究テーマ及び内容

本学大学院入学後、研究することを希望するテーマ及び内容について具体的に記入してください。

第2志望まで出願する者のうち、

- ① 修士課程の専攻・コース・分野等を第2志望とする者は、「修士課程研究希望調書（第2志望）」に記入してください。
- ② 専門職学位課程の教員養成特別コース以外の専攻・コースを第2志望とする者は、「専門職学位課程研究希望調書（第2志望）」に記入してください。教員養成特別コースを第2志望とする者は「教員養成特別コース志望動機書（専門職学位課程・第2志望）」に記入してください。

なお、教職経験3年以上の者は、「（これまでの研究テーマと内容又は卒業論文の概要）」欄への記載については「教育実践の記録に記載済」と記載してください。（心理臨床コース臨床心理学領域志願者は除く。）

2 研究活動、研究発表の状況

(1) 在職中、在学中又は大学等の卒業（修了）後における、個人又は共同で行った研究について、発表（口頭発表、展示、刊行等の別を問いません。）の年月日順にその概要を簡潔に記入してください。

なお、心理臨床コース臨床心理学領域を志望する者は、研究活動・研究発表のほかに、教育相談又は心理支援の経験があれば、「発表年月日」欄にその経験の始期と終期を、「研究テーマ及び内容」欄にその経験内容を簡潔に記入してください。

- (2) 概要の末尾に発表を行った研究会・展示会等の名称又は刊行物・雑誌の名称及び発行所名を、（ ）で付して記入してください。
- (3) 教職経験3年以上の者は、「研究活動、研究発表の状況」欄への記載については「教育実践の記録に記載済」と記載してください。（心理臨床コース臨床心理学領域志願者は除く。）
- (4) 該当する事項がない場合は、空欄もしくは「特になし」と記入してください。

3 学歴

高等学校以上の学歴について入学、転学、卒業又は修了を記入してください。

卒業研究等を行っていない場合は、（卒業研究等の題目）欄に空欄もしくは「特になし」と記入してください。

4 職歴等

(1) 「職歴」欄は、年月順に記入してください。

(2) 「左のうち初等中等教育教員として勤務した在职年月数」欄には、「職歴」欄記入の職のうち初等中等教育教員として勤務した期間（非常勤の職については、勤務の形態が常勤の職員と同様である期間に限ります。）に係る在职年月数についてのみ記入してください。

なお、育児休業、国際派遣等による休職期間は**在职年月数には算入しないでください。**

- (3) 現に勤務している職については、令和7年4月1日においても勤務しているものとして、令和7年3月31日までの在職期間を計算してください。ただし、**令和7年4月1日以前に退職する予定であるときは、退職予定日までについて計算してください。**
- (4) 在職期間について1か月未満となる期間があるときは、1か月に切り上げて記入してください。

5 その他

入学後に希望する研究テーマ及び入学後に希望する研究内容・（これまでの研究テーマと内容又は卒業論文の概要）については、必ず所定の欄に収まるよう記入してください。

修士課程研究希望調書（第1志望）

（8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
専攻・ コース・ 分野等	(略称で記入してください。) 第1志望					
入学後に希望する研究テーマ						
入学後に希望する研究内容						
(これまでの研究テーマと内容又は卒業論文の概要)						
第2志望	専攻・コース・分野等	(略称で記入してください。)				
	入学後に希望する研究テーマ 又は実践研究課題					

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 裏面も記載してください。
 3 「修士課程研究希望調書記入上の注意」に留意してください。
 4 第2志望で教員養成特別コースを志望する者は、第2志望欄中の「入学後に希望する研究テーマ又は実践研究課題」に記入する必要はありません。

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
研究活動・研究発表の状況	発表年月日	研究テーマ及び内容				
	年 月 日					
学歴	年 月 日	高等学校卒業			(卒業研究等の題目)	
	年 月 日	入学				
	年 月 日	卒業・卒業見込み				
	年 月 日					
	年 月 日					
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。)	(取得済・取得見込)					
職歴	在職期間	勤務先名			職名等	在職年月数
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
計						年 月

修士課程研究希望調書（第2志望）
（8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
専攻・ コース・ 分野等	(略称で記入してください。) 第2志望					
入学後に希望する研究テーマ						
入学後に希望する研究内容						
(これまでの研究テーマと内容又は卒業論文の概要)						
第1志望	専攻・コース・分野等	(略称で記入してください。)				
	入学後に希望する研究テーマ 又は実践研究課題					

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 裏面も記載してください。
 3 「修士課程研究希望調書記入上の注意」に留意してください。
 4 第1志望で教員養成特別コースを志望する者は、第1志望欄中の「入学後に希望する研究テーマ又は実践研究課題」に記入する必要はありません。

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
研究活動・研究発表の状況	発表年月日	研究テーマ及び内容				
	年 月 日					
学歴	年 月 日	高等学校卒業			(卒業研究等の題目)	
	年 月 日	入学				
	年 月 日	卒業・卒業見込み				
	年 月 日					
	年 月 日					
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。)	(取得済・取得見込)					
職歴	在職期間	勤務先名			職名等	在職年月数
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
計						年 月

専門職学位課程研究希望調書記入上の注意

1 入学後に希望する実践研究課題及び内容

志願者は、専門職学位課程入学後、希望する実践研究課題及び内容について具体的に記入してください。

第2志望まで出願する者のうち、

- ① 修士課程の専攻・コース・分野等を第2志望とする者は、「修士課程研究希望調書（第2志望）」に記入してください。
- ② 専門職学位課程の教員養成特別コース以外の専攻・コースを第2志望とする者は、「専門職学位課程研究希望調書（第2志望）」に記入してください。教員養成特別コースを第2志望とする者は「教員養成特別コース志望動機書（専門職学位課程・第2志望）」に記入してください。

2 これまでの研究テーマと内容、又は卒業論文の概要

教職経験3年以上の者は記入の必要はありません。

3 実践研究活動、研究発表の状況

- (1) 在職中、在学中又は大学等の卒業（修了）後における、個人又は共同で行った実践研究について、発表（口頭発表、展示、刊行等の別を問いません。）の年月日順にその概要を簡潔に記入してください。
- (2) 概要の末尾に発表を行った研究会・展示会等の名称又は刊行物・雑誌の名称及び発行所名を、（ ）で付して記入してください。
- (3) 教職経験3年以上の者は、「実践研究活動、研究発表の状況」欄については「教育実践の記録に記載済」と記入してください。
- (4) 該当する事項がない場合は、空欄もしくは「特になし」と記入してください。

4 学 歴

高等学校以上の学歴について入学、転学、卒業又は修了を記入してください。

卒業研究等を行っていない場合は、（卒業研究等の題目）欄に空欄もしくは「特になし」と記入してください。また、教職経験3年以上の者は、（卒業研究等の題目）欄に記入の必要はありません。

5 職 歴 等

- (1) 「職歴」欄は、年月順に記入してください。
- (2) 「左のうち初等中等教育教員として勤務した在职年月数」欄には、「職歴」欄記入の職のうち初等中等教育教員として勤務した期間（非常勤の職については、勤務の形態が常勤の職員と同様である期間に限ります。）に係る在职年月数についてのみ記入してください。
なお、育児休業、国際派遣等による休職期間は**在职年月数には算入しないでください。**
- (3) 現に勤務している職については、令和7年4月1日においても勤務しているものとして、令和7年3月31日までの在職期間を計算してください。ただし、**令和7年4月1日以前に退職する予定であるときは、退職予定日までについて計算してください。**
- (4) 在職期間について1か月未満となる期間があるときは、1か月に切り上げて記入してください。

6 そ の 他

入学後に希望する実践研究課題及び入学後に希望する実践研究課題内容については、必ず所定の欄に収まるよう記入してください。

専門職学位課程研究希望調書（第1志望）
 （8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

ふりがな 氏名	男 ・ 女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
専攻・ コース	(略称で記入してください) 第1志望					
入学後に希望する実践研究課題						
入学後に希望する実践研究課題内容						
(これまでの研究テーマと内容, 又は卒業論文の概要)						
第2志望	専攻・コース・分野等	(略称で記入してください)				
	入学後に希望する研究テーマ 又は実践研究課題					

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 裏面も記載してください。
 3 「専門職学位課程研究希望調書記入上の注意」に留意してください。
 4 第2志望で教員養成特別コースを志望する者は、第2志望欄中の「入学後に希望する研究テーマ又は実践研究課題」に記入する必要はありません。

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
実践研究活動・研究発表の状況	発表年月日	実践研究課題及び内容				
	年 月 日					
学歴	年 月 日	高等学校卒業			(卒業研究等の題目)	
	年 月 日	入学				
	年 月 日	卒業・卒業見込み				
	年 月 日					
	年 月 日					
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。)	(取得済・取得見込)					
職歴	在職期間	勤務先名			職名等	在職年月数
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
計						年 月

専門職学位課程研究希望調書（第2志望）

（8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
専攻・ コース	(略称で記入してください) 第2志望					
入学後に希望する実践研究課題						
入学後に希望する実践研究課題内容						
(これまでの研究テーマと内容, 又は卒業論文の概要)						
第1志望	専攻・コース・分野等	(略称で記入してください)				
	入学後に希望する研究テーマ 又は実践研究課題					

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 裏面も記載してください。
3 「専門職学位課程研究希望調書記入上の注意」に留意してください。
4 第1志望で教員養成特別コースを志望する者は、第1志望欄中の「入学後に希望する研究テーマ又は実践研究課題」に記入する必要はありません。

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
実践研究活動・研究発表の状況	発表年月日	実践研究課題及び内容				
	年 月 日					
学歴	年 月 日	高等学校卒業			(卒業研究等の題目)	
	年 月 日	入学				
	年 月 日	卒業・卒業見込み				
	年 月 日					
	年 月 日					
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。)	(取得済・取得見込)					
職歴	在職期間	勤務先名			職名等	在職年月数
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
	年 月 ~ 年 月					年 月
計						年 月

教員養成特別コース 志望動機書記入上の注意（専門職学位課程）

- 1 本コースの志望動機及び教師になる上で特に学びたいと思っていること
志願者は、教員養成特別コースを志望する動機及び教師になる上で特に学びたいと思っていることについて、具体的に記入してください。
第2志望まで出願する者のうち、
 - ① 修士課程の専攻・コース・分野等を第2志望とする者は、「修士課程研究希望調書（第2志望）」に記入してください。
 - ② 専門職学位課程の他の専攻・コースを第2志望とする者は、「専門職学位課程研究希望調書（第2志望）」に記入してください。

- 2 これまでに取り組んだ、教育に関わる活動（ボランティア等を含む）や研究の概要
 - (1) 在学中又は大学等の卒業（修了）後における、教育に関わる活動（ボランティア等を含む）や研究について、それに取り組んだ期間とその概要を記入してください。
 - (2) 該当する事項がない場合は、空欄もしくは「特になし」と記入してください。

- 3 学 歴
高等学校以上の学歴について入学、転学、卒業又は修了を記入してください。
卒業研究等を行っていない場合は、（卒業研究等の題目）欄に空欄もしくは「特になし」と記入してください。また、教職経験3年以上の者は、（卒業研究等の題目）欄に記入の必要はありません。

- 4 職 歴 等
 - (1) 「職歴」欄は、年月順に記入してください。
 - (2) 「左のうち初等中等教育教員として勤務した在職年月数」欄には、「職歴」欄記入の職のうち初等中等教育教員として勤務した期間（非常勤の職については、勤務の形態が常勤の職員と同様である期間に限ります。）に係る在職年月数についてのみ記入してください。
なお、育児休業、国際派遣等による休職期間は在職年月数には算入しないでください。
 - (3) 現に勤務している職については、令和7年4月1日においても勤務しているものとして、令和7年3月31日までの在職期間を計算してください。ただし、令和7年4月1日以前に退職する予定であるときは、退職予定日までについて計算してください。
 - (4) 在職期間について1か月未満となる期間があるときは、1か月に切り上げて記入してください。

- 5 そ の 他
本コースの志望動機及び教師になる上で特に学びたいと思っていることについては、必ず所定の欄に収まるよう記入してください。

教員養成特別コース 志望動機書（専門職学位課程・第1志望）

（8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
コース	第1志望 高度学校教育実践専攻 教員養成特別コース					
本コースの志望動機						
教師になる上で特に学びたいと思っていること						
第2志望	専攻・コース・分野等		(略称で記入してください。)			
	入学後に希望する研究テーマ 又は実践研究課題					

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 裏面も記載してください。
 3 「教員養成特別コース志望動機書記入上の注意」に留意してください。

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
これまでに取り組んだ、教育に関わる活動（ボランティア等を含む）や研究の概要						
学 歴	年 月 日	高等学校卒業		(卒業研究等の題目)		
	年 月 日	入学				
	年 月 日	卒業・卒業見込み				
	年 月 日					
	年 月 日					
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。)	(取得済・取得見込)					
職 歴	在 職 期 間		勤 務 先 名		職 名 等	在職年月数
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
計						年 月

教員養成特別コース 志望動機書（専門職学位課程・第2志望）
（8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
コース	第2志望 高度学校教育実践専攻 教員養成特別コース					
本コースの志望動機						
第1志望	専攻・コース・分野等		(略称で記入してください。)			
	入学後に希望する研究テーマ 又は実践研究課題					

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 裏面も記載してください。
 3 「教員養成特別コース志望動機書記入上の注意」に留意してください。

ふりがな 氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	受験 番号	※
これまでに取り組んだ、教育に関わる活動（ボランティア等を含む）や研究の概要						
学 歴	年 月 日	高等学校卒業		(卒業研究等の題目)		
	年 月 日	入学				
	年 月 日	卒業・卒業見込み				
	年 月 日					
	年 月 日					
取得教員免許状の種類 (見込を含みます。)	(取得済・取得見込)					
職 歴	在 職 期 間		勤 務 先 名		職 名 等	在職年月数
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
	年 月 ~	年 月				年 月
計						年 月

教育実践の記録（8月日程・10月日程・12月日程・2月日程）

鳴門教育大学大学院学校教育研究科

氏名		受験番号	※
<small>専攻・コース・分野等</small>	第1志望 <small>（略称で記入してください。）</small>	第2志望 <small>（略称で記入してください。）</small>	

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 教育実践の記録には、授業研究、学習指導、クラブ活動指導など学校内での教育研究活動を記入してください。
 なお、発表又は公表したものについては、裏面に記入してください。
 3 教育関係者については、現職教員に準じて記入してください。

氏名					受験番号	※
専攻・コース・分野等	第1志望 (略称で記入してください。)			第2志望 (略称で記入してください。)		
主な研究発表, 研究論文, 著書, 制作発表, 演奏などについて, 3件以内で記載してください。						
1	発表題目, 報告書等の名称					
	上記に関する200字程度の概要					
	研究会, 発行所等の名称	*	共同研究者等	*	年月	*
	2	発表題目, 報告書等の名称				
上記に関する200字程度の概要						
研究会, 発行所等の名称		*	共同研究者等	*	年月	*
3		発表題目, 報告書等の名称				
	上記に関する200字程度の概要					
	研究会, 発行所等の名称	*	共同研究者等	*	年月	*

(注) 発表年月日等のあるものは, *欄にも記入願います。

この調査票は、8月日程又は12月日程選抜試験で音楽科教育コースを受験する者（教職経験者等は除く）は必ず記入してください。

氏名	
----	--

受験番号	※
------	---

音楽科教育コース 受験調査票（8月日程・12月日程）

1 教職経験者等以外の受験者は、小論文か演奏実技どちらか一つを選択して○で囲んでください。

小論文	演奏実技
-----	------

2 教職経験者等以外の受験者で、演奏実技を選択する者は、曲名及び作曲者名を下欄に記入してください。

	曲名	作曲者名
演奏曲目		
	器楽の場合は、演奏する楽器名を下に記入してください。 ()	

3 伴奏が必要な場合は、各自伴奏者を同伴してください。これに関して、次のいずれかを○で囲んでください。

なお、本学では伴奏者を用意しません。

します

* 伴奏者を同伴

しません

(注) ※印欄は記入しないでください。

この調査票は、8月日程又は12月日程選抜試験で美術科教育コースを志望する者のうち、教職経験者等を除いた受験者が記入してください。

氏名	
----	--

受験番号	※
------	---

美術科教育コース 受験調査票（8月日程・12月日程）

美術科教育コースを志望する者（教職経験者等を除く）は試験に際し、小論文と実技（素描）のどちらか一つを選択することになっています。下記のどちらかを○で囲んでください。

小論文	実技（素描）
-----	--------

（注）※印欄は記入しないでください。

保健体育科教育コース 競技・競技指導歴調書

氏名			受験番号	※
主な競技歴について、3件以内で記載してください。(該当事項 有・無)				
1	競技等の名称			年月
	大会等の名称			大会等の主催者
	上記に関する概要			
			
2	競技等の名称			年月
	大会等の名称			大会等の主催者
	上記に関する概要			
			
3	競技等の名称			年月
	大会等の名称			大会等の主催者
	上記に関する概要			
			
主な競技指導歴について、3件以内で記載してください。(該当事項 有・無)				
1	競技等の名称			年月
	大会等の名称			大会等の主催者
	上記に関する概要			
			
2	競技等の名称			年月
	大会等の名称			大会等の主催者
	上記に関する概要			
			
3	競技等の名称			年月
	大会等の名称			大会等の主催者
	上記に関する概要			
			

(注) 1 ※印欄は記入しないでください。

2 該当事項がない場合は、該当事項有無欄を○で囲んで提出してください。

技術・工業・情報科教育コース 小論文

氏名		受験番号	※
題目「鳴門教育大学大学院において取り組みたい実践研究課題について」			

(34 × 30)

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
- 2 小論文と補足資料に出身大学名, 指導教員名, 勤務先名を記入しないでください。
- 3 小論文の作成においては, 裏面の「技術・工業・情報科教育コース 小論文の作成について」を熟読してください。

技術・工業・情報科教育コース 小論文の作成について

技術・工業・情報科教育コースの小論文については、以下の説明文を参考に作成してください。

小論文は、実践研究課題の背景、目的、内容、方法等を自分の考え（卒業研究等や個別に取り組んだ課題探求、教育実践、実験実習、研究開発、製作等の事例を含めてもよい。）に基づいて記述してください。

日本語で800字程度、横書きとしてください。パソコン等で作成した場合は、所定用紙の枠内に収まるように貼り付けてください。説明をさらに必要とする場合は、図や写真等の補足資料を添付してもかまいません。

※ 10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者及び「教職経験者等」は小論文の提出は必要ありません。

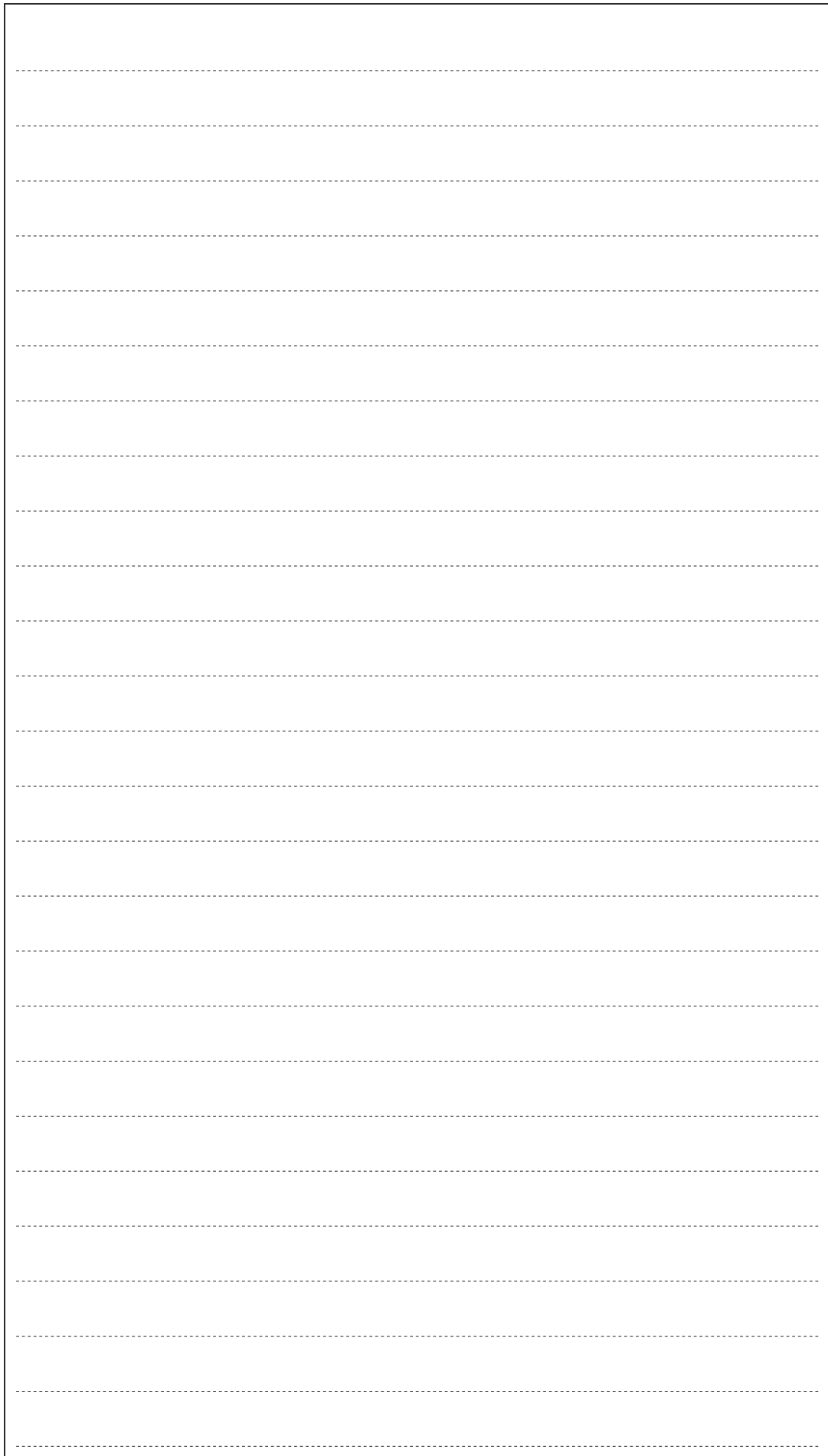
家庭科教育コース 小論文の作成について

家庭科教育コースの小論文については、以下の説明文を参考に作成してください。

小論文は、実践研究課題の背景、目的、内容、方法等を自分の考え（卒業研究等や個別に取り組んだ課題探求、教育実践、実験実習、研究開発、製作等の事例を含めてもよい。）に基づいて記述してください。

日本語で800字程度、横書きとしてください。パソコン等で作成した場合は、所定用紙の枠内に収まるように貼り付けてください。説明をさらに必要とする場合は、図や写真等の補足資料を添付してもかまいません。

※ 10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者及び「教職経験者等」は小論文の提出は必要ありません。



事前課題解答用紙(第1志望)

氏名		受験番号	※
専攻・コース・分野等	(略称で記入してください。)		

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 事前課題解答用紙は横書きとし、日本語 1,000 字程度で記載してください。
ただし、音楽科教育コースで演奏動画を提出する者は、16 ページの留意事項に記載の事項を記載してください。
3 パソコン等で作成した文章を、枠内に収まるように貼り付けてもかまいません。

事前課題解答用紙(第2志望)

氏名		受験番号	※
専攻・コース・分野等	(略称で記入してください。)		

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 事前課題解答用紙は横書きとし、日本語 1,000 字程度で記載してください。
ただし、音楽科教育コースで演奏動画を提出する者は、16 ページの留意事項に記載の事項を記載してください。
3 パソコン等で作成した文章を、枠内に収まるように貼り付けてもかまいません。

- 18 この提出書類は、必ず、本学ウェブページに掲載している様式をダウンロードし、必要事項をパソコン等で入力、印刷したものを提出してください。

【入力例】

※手書き不可

受験番号	※
------	---

(※印欄は記入しないでください)

オンライン入試連絡票 (10月日程・2月日程)

志望専攻 ・コース ・分野等	第1志望 ○○○ 専攻 ○○○ コース ○○○ 分野・領域
	第2志望 ○○○ 専攻 ○○○ コース ○○○ 分野・領域
ふりがな	なると たろう
氏名	鳴門 太郎
生年月日	平成 13 年 5 月 15 日生
<オンライン入試を行うために必要な連絡事項>	
E-mail	tarou@abcde.co.jp 【nyushidaigakuin@naruto-u.ac.jp】からのメールを受信できるよう設定すること。
面接当日に着信 可能な電話番号	090-1234-5678
	オンライン面接時間に、必ず通話可能な電話番号を記載してください。 回線が繋がらない等、緊急時に使用します。

※オンライン特別選抜試験は、Web 会議システム (Zoom) を利用して行います。

上記 E-mail アドレスには、Zoom を使用する際の連絡事項等の重要なメールを送信します。

事前に【nyushidaigakuin@naruto-u.ac.jp】から受信確認用のメールを送信しますので、メールを受信できるように設定してください。なお、事前接続テストを10月日程選抜試験は10月19日(土)に、2月日程選抜試験は2月8日(土)に実施します。

受験 番号	※
----------	---

(※印欄は記入しないでください)

誓 約 書 (10月日程・2月日程)

令和 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

志望専攻・コース・分野等名

第1志望

第2志望

氏 名 (自署)

生 年 月 日 年 月 日

私は、2025（令和7）年度鳴門教育大学大学院学校教育研究科入学者選抜試験において、下記誓約事項のすべてに同意し、受験します。

誓 約 事 項

- ① 受験中は、試験担当者の指示に従います。
- ② 受験中、受験する場所には受験者本人しか在室しないこと及び他人と一切連絡を取らないことを誓約します。
- ③ 受験中、Zoomの特別な背景設定（ぼかしやバーチャル背景等）は使用しないことを誓約します。
- ④ 受験中は、試験担当者から指示がある場合を除き、出願書類及び参考書等の試験に関わる資料を一切閲覧しないことを誓約します。
- ⑤ 受験中は、不正行為及び不正と疑われる行為を行わないことを誓約します。
- ⑥ 試験内容を、録画・録音しないことを誓約します。
- ⑦ 受験後、試験に関係する内容を一切外部に漏洩しないことを誓約します。
- ⑧ 受験中、試験担当者が不正行為確認のため必要と判断した場合は、試験内容を録画・録音することを了承します。
- ⑨ 受験中、試験担当者が不正行為の有無の確認が必要と判断した場合は、試験を中断することを了承します。
- ⑩ 上記誓約事項に反した場合、試験中においては受験が中止され失格となること、及び合格後であっても入学の取り消しがあることを了承します。

在 職 期 間 証 明 書

年 月 日

鳴門教育大学長 殿

印

(在職機関の長)

下記の者の職名及び在職期間について証明します。

記

氏 名 _____

職 名 _____

在職期間 _____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日
(_____年 _____か月)

勤務形態 常勤 非常勤
(1週平均 _____時間 ・ 1日平均 _____時間)

注) 在職期間が3年以上となるよう、証明してください。

在職期間が3年以上の機関が複数ある場合は、いずれか1機関の証明のみで結構です。

複数の機関での合算で3年以上となる場合は、本紙をコピーし、1機関ごとに使用してください。

年 月 日

連携協力校承諾書

鳴門教育大学長 殿

園 長
学校長

印

本校（園）職員である_____を鳴門教育大学大学院学校教育研究科
高度学校教育実践専攻に大学院生として派遣することに伴い、本校（園）が同専攻の
連携協力校となって、本校（園）の課題について鳴門教育大学と共同研究を行い、そ
の一環として貴学のフィールドワークの実施を本校（園）で行うことを承諾します。

年 月 日

連携協力校承諾書（保育士用）

鳴門教育大学長 殿

施設長_____
印

本所（園）職員である_____が鳴門教育大学大学院学校教育研究科
高度学校教育実践専攻に大学院生として修学することに伴い、本所（園）が同専攻の
連携協力校となって、本所（園）の課題について鳴門教育大学と共同研究を行い、そ
の一環として貴学のフィールドワークの実施を本所（園）で行うことを承諾します。

年 月 日

長期履修申請書

鳴門教育大学長 殿

氏名 _____

下記の理由により、長期履修学生制度（修業年限3年）を申請します。

申請資格（該当する欄に記入，□はチェックすること。）
<input type="checkbox"/> 職業を有し，就業している者 勤務先名 所在地 <div style="text-align: right;">TEL ()</div>
<input type="checkbox"/> 家事，育児，長期介護等の事情を有する者 具体的な内容
<input type="checkbox"/> その他 具体的な内容

鳴門教育大学大学院学校教育研究科（修士課程（心理臨床コース臨床心理学領域を除く。））

資格取得プログラム受講申請書

取得を希望する 資格等 (注1)			受験番号※
ふりがな			整理番号※
氏名			
コース (領域・分野)	第一希望	コース ()	
	第二希望	コース ()	
取得済み (取得見込) 教員免許状	有	<input type="checkbox"/> 小学校 1種・2種 <input type="checkbox"/> 中学校 1種・2種 (教科) <input type="checkbox"/> 高等学校 (教科) <input type="checkbox"/> 幼稚園 1種・2種 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 1種・2種	無

長期履修申請書

年 月 日

鳴門教育大学長 殿

氏 名

資格取得プログラムを受講したいので、長期履修学生制度（修業年限3年）を申請します。

(注1) 幼稚園教諭、小学校教諭又は中学校教諭のいずれかの1種免許状が取得できます。

中学校の場合は教科も記入してください。

(注2) ※印欄は記入しないでください。

学校教員養成プログラム受講申請書

プログラム名	幼稚園教員 小学校教員 中学校教員 特別支援学校教員	養成プログラム	受験番号※
	取得希望教科 () <small>(中学校教員養成プログラム希望者のみ)</small>		
ふりがな			整理番号※
氏名			
コース	第一希望	コース	
	第二希望	コース	
取得済み (取得見込) 教員免許状	有	<input type="checkbox"/> 小学校 1種・2種 <input type="checkbox"/> 中学校 1種・2種 (教科) <input type="checkbox"/> 高等学校 (教科) <input type="checkbox"/> 幼稚園 1種・2種 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 1種・2種	無

長期履修申請書

年 月 日

鳴門教育大学長 殿

氏名

学校教員養成プログラムを受講したいので、長期履修学生制度(修業年限3年)を申請します。

(注) ※印欄は記入しないでください。

検定料の払込について

- (1) 払込方法 (場所)
この郵便振替払込書用紙は、大学の検定料の納入用紙として郵便局・ゆうちょ銀行の承認を受けたものです。検定料は必ずこの用紙を使用し、**最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込み**、ATM (現金自動預払機) は利用しないでください。
その際、ご依頼人 (受験者) の住所・氏名を記入のうえ、3連の振替払込書用紙を切り離さないで郵便局・ゆうちょ銀行に出して収納印の押印を受けてください。
- (2) 留意点
払込済 (日付印のあるもの) の「**検定料振替払込受付証明書 (お客さま用)**」を別紙「**検定料振替払込受付証明書貼付台紙**」に貼付し、必ず提出してください。貼付されていない場合は、出願書類を受理することができません。
検定料振替払込受付証明書を大学に提出した後、振替払込請求書兼受領証は、入学試験終了まで大切に保管してください。
(この振替払込書用紙の受領証をもって鳴門教育大学の領収書と換えさせていただきます。)
- (3) 払込についてのお問合せ先
〒772-8502
鳴門市鳴門町高島字中島748
国立大学法人 鳴門教育大学 教務部入試課
TEL (088) 687-6131 (直通)

払込取扱票

00	徳島	口座記号番号	金	額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	1	6	7	0	0	0	0	9	2	4	7	3
加入者名		国立大学法人 鳴門教育大学 検定料										
通		大学院学校教育研究科 検定料										
信		必ず窓口で払い込み、ATM (現金自動預払機) は利用しないでください。										
欄		ご依頼人 (電話番号 - -)										
ご依頼人		おとなまえ										日
おとなまえ		おとなまえ										附
												印
												様
												日
												附
												印

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号第4350号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	1	6	7	0	0		
加入者名	国立大学法人 鳴門教育大学 検定料							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
おとなまえ				3	0	0	0	0
ご依頼人	おとなまえ							様
料	(郵便込み)							日
金								附
備								印
考								円

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

検定料振替払込受付証明書 (お客さま用)

(ご依頼人⇨郵便局・ゆうちょ銀行⇨ご依頼人)

口座記号番号	0	1	6	7	0	-	0		
加入者名	国立大学法人 鳴門教育大学 検定料								
払込金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人住所氏名				3	0	0	0	0	0
* 日 附 印									

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

郵便局・ゆうちょ銀行
の収納印が押印され
た検定料振替払込受
付証明書を受け取っ
て提出してください。

この払込票は入学試験志願
者のみ使用してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理し
ますので、本票を汚したり、折り
曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、
ご依頼様が負担することとな
ります。
- ・ご依頼者様からご提出いただ
きました払込書に記載されたお
とところ、おなまえ等は、鳴門教
育大学に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠
となるものですから大切に保管
してください。

この払込取扱票のこの場所には、何も記載しないでください。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

検定料振替払込受付証明書貼付台紙

郵便局・ゆうちょ銀行窓口で受け取った検定料振替
払込受付証明書をこの台紙に貼り付けてください。

ここに、検定料振替払込受付
証明書（お客さま用）を貼り付
けてください。

29 (外国に住居する者等で郵便振替払込書が使用できない場合に使用します。)

(8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)

領 収 書 (控)

国立大学法人 鳴門教育大学				第 号						
住所										
氏 名 殿										
納 付 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円
但し、令和7年度入学者選抜の検定料										
出 納 責 任 者 あて先 経 理 責 任 者 殿						領収年月日				

切 取 線

原 符

国立大学法人 鳴門教育大学				第 号						
住所										
氏 名 殿										
納 付 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円
但し、令和7年度入学者選抜の検定料										
出 納 責 任 者 出 納 担 当 者 印						領収年月日				

切 取 線

領 収 書

国立大学法人 鳴門教育大学				第 号						
住所										
氏 名 殿										
納 付 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円
但し、令和7年度入学者選抜の検定料										
上記のとおり領収しました。 出 納 責 任 者 出 納 担 当 者 印						領収印				

※

あて名シール
(8月日程・10月日程・12月日程・2月日程)

〈記入上の注意〉
住所欄には、合格通知送付先の住所を記入してください。

□□□-□□□□

住 所 _____

_____ 殿

□□□-□□□□

住 所 _____

_____ 殿

□□□-□□□□

住 所 _____

_____ 殿

□□□-□□□□

住 所 _____

_____ 殿

速 達

【 月日程】

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

(定形郵便
物料金+速
達料金)分
の切手を貼
り付けてく
ださい。

受
取
人

「受
験
票
在
中」

殿

鳴門教育大学

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL (088) 687-6131

速 達

書留速達
便として
ください。

7 7 2 8 5 0 2

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島七四八番地

鳴門教育大学入試課
行

書留速達

「大学院学校教育研究科入学願書在中」

折曲厳禁

郵便局
引受番号

差 出 人	(〒) 住 所
	氏 名

この封筒の中に、出願に必要な次の書類が入っているか、
確認してから提出してください。

全員が必要な書類

- 入学願書
- 受験票, 写真票 (受験票 1 枚及び写真票 3 枚の全てに記入し, 写真を貼り付けること。)
- 卒業 (見込み) 証明書
- 成績証明書 (第 2 志望まで出願する者は 2 通)
- 修士課程研究希望調書 (修士課程を志望する者)
- 専門職学位課程研究希望調書 (専門職学位課程の教員養成特別コース以外を志望する者)
- 教員養成特別コース 志望動機書 (教員養成特別コースを志望する者)
- 検定料 30,000 円 (本学所定の用紙 (3 連) に郵便局・ゆうちょ銀行窓口にて検定料振替払込受付証明書に収納印をもらい, 「検定料振替払込受付証明書貼付台紙」に貼り付けてください。)
- 受験票等送付用封筒 (送付先の住所を記入し, (定形郵便物料金+速達料金) 分の切手を貼り付けること。)
- あて名シール (4 連全て記入願います。)

該当者のみ必要な書類

- 教育職員免許状授与証明書 (出願資格の(8)で出願する者)
- 教育実践の記録 (教職経験 3 年以上の者及び教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者) ※心理臨床コース臨床心理学領域は除く。
- 音楽科教育コース受験調査票 (音楽科教育コース志望者)
- 美術科教育コース受験調査票 (美術科教育コース志望者)
- 保健体育科教育コース競技・競技指導歴調書 (保健体育科教育コース志望者)
- 技術・工業・情報科教育コース小論文 (技術・工業・情報科教育コース志望者)
- 家庭科教育コース小論文 (家庭科教育コース志望者)
- 臨床心理学領域出願に必要な検定等の証明書 (10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者)
- 実用英語技能検定試験 (英検) 合格証明書 (2 級以上)
- 活動履歴書 (グローバル教育コースに出願する者で独立行政法人国際協力機構 (JICA) の JICA 海外協力隊経験を 2 年間以上有する者)
- 事前課題解答用紙 (10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者 (教職経験者等を除く))
- オンライン入試連絡票 (10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者)
- 誓約書 (10月日程及び2月日程選抜試験に出願する者)
- 同意書 (現職教員及び教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者)
- 在職期間証明書 (現職教員以外で3年以上の教職経験を有する者)
- 連携協力校承諾書 (現職教員で専門職学位課程の専攻・コースを志望する者 (教職大学院遠隔教育プログラム受講申請者を除く。))
- 連携協力校承諾書 (保育士用)
- 長期履修申請書 (長期履修学生制度申請者)
- 資格取得プログラム受講申請書 (修士課程 (心理臨床コース臨床心理学領域を除く。))
- 学校教員養成プログラム受講申請書 (専門職学位課程)
- 推薦書, 志望理由書 (所属する大学等の学長又は学部長等の推薦を受け出願する者)
- 派遣証明書 (和文) (グローバル教育コースに出願する者で独立行政法人国際協力機構 (JICA) の JICA 海外協力隊経験を 2 年間以上有する者)
- 日本語能力試験 N1 又は 1 級 (旧試験) 認定証明書 (日本国籍を有しない者でグローバル教育コースの日本語教育・日本文化分野志望者)
- 旅券 (パスポート) の写し (日本国籍を有しない者で日本国に居住している者)
- 在留カード (外国人登録証明書) の写し (日本国籍を有しない者で日本国に居住している者)
- 原符, 領収書 (外国に居住する者)

国立大学法人 鳴門教育大学
大学院学校教育研究科

学生募集要項

(一般選抜)

発行 鳴門教育大学教務部入試課

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

TEL 088-687-6131

FAX 088-687-6138

URL <https://www.naruto-u.ac.jp/>

E-mail nyushidaigakuin@naruto-u.ac.jp



各種お問い合わせ先

入学試験について(入試課)
TEL. **088-687-6131**

カリキュラム・教育方法・教育職員免許状等について(教務課)
TEL. **088-687-6095** 又は **6692**

学生生活・課外活動について(学生課)
TEL. **088-687-6117**

奨学金・授業料免除について(学生課)
TEL. **088-687-6118** (又は **6119**)

学生宿舎について(学生課)
TEL. **088-687-6120**

教員採用・就職支援等について(就職支援室)
TEL. **088-687-6112**

授業料等の納付について(財務課)
TEL. **088-687-6060**

問い合わせ時間等

月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで

(祝日、全学一斉休業日並びに年末年始休業期間を除きます。)



大学院
入試情報



「0」からでも
教員免許が取れる大学院



教職大学院
遠隔教育プログラム

教育の一番札所

国立大学法人

鳴門教育大学

「教育の一番札所」

標語は、「教員養成は鳴門から、そして全国へ」という意を込め、
本学としての使命と責任を明らかにするため、「教育の一番札所」としました。